

**GARMIN**<sup>®</sup>



# **RV 890 / CAMPER 890 / RV 1090 / CAMPER 1090**

---

## **操作マニュアル**

© 2020 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、[www.garmin.com](http://www.garmin.com) を参照してください。

Garmin®、および Garmin ロゴは、Garmin Ltd.とその子会社の米国およびその他の国における登録商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

BC™、Fusion™、Fusion-Link™、Garmin Drive™、Garmin Express™、Garmin PowerSwitch™、および myTrends™ は、Garmin Ltd.とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Android™は Google Inc.の商標です。Apple®および Mac®は、米国およびその他の国における Apple Inc.の商標です。BLUETOOTH®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG,Inc.の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこのワードマークまたはロゴを使用しています。Foursquare®は、Foursquare Labs, Inc.の米国およびその他の国における商標です。HISTORY®および H ロゴは、A+E Networks の商標であり、米国およびその他の国で保護されています。All rights reserved. 許可を得て使用。microSD®および microSDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。TripAdvisor®は TripAdvisor LLC の登録商標です。Ultimate Campgrounds は Ultimate Public Campground Project の商標です。Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Wi-Fi®および Wi-Fi CERTIFIED MiraCast™ は、Wi-Fi Alliance Corporation の登録商標です。

# 目次

はじめに .....	1
デバイスの概要 .....	1
車両へのデバイスの取り付けと電源の供給 .....	2
ダッシュボードへのネジ留め式マウントの取り付け .....	4
ボールマウントアダプターの取り付け .....	5
デバイスの電源をオンまたはオフにする .....	6
GPS 信号を捕捉する .....	6
メイン画面 .....	7
アプリの起動 .....	8
ショートカットをホーム画面に追加する .....	8
通知の表示 .....	8
ステータスバーアイコン .....	8
タッチスクリーンを使用する .....	8
画面の輝度を調整する .....	9
車両プロファイル .....	9
車両プロファイルを追加する .....	9
乗用車プロファイル .....	9
車両プロファイルの切り替え .....	10
プロパンタンクを追加する .....	10
車両プロファイルを編集する .....	10
ドライバーへの注意喚起の機能とアラート .....	11
ドライバーアラートを有効または無効にする .....	11
赤信号カメラとスピードカメラ .....	11
目的地へのナビゲーション .....	12
ルート .....	12
ナビゲーションを開始する .....	12
地図を使用してナビゲーションを開始する .....	12
帰宅する .....	12
自宅の場所を編集する .....	12
地図上のルート .....	12
アクティブ車線案内 .....	14
方向転換と方向指示を表示する .....	14
地図にルート全体を表示する .....	14
目的地に到着する .....	14

目的地の近くの駐車場 .....	15
アクティブルートを変更する .....	15
ルートに場所を追加する .....	15
ルートを形成する .....	15
迂回路を検索する .....	16
ルート探索方法を変更する .....	16
ナビゲーションを停止する .....	16
推奨ルートを利用する .....	16
遅延、有料道路、およびエリアを回避する .....	16
ルート上の交通遅延を回避する .....	16
有料道路を回避する .....	17
有料ステッカーを回避する .....	17
道路の回避機能 .....	17
環境ゾーンを回避する .....	17
カスタム回避 .....	17
道路を回避する .....	17
エリアを回避する .....	18
カスタム回避を無効にする .....	18
カスタム回避を削除する .....	18

位置の検索と保存を行う .....	18
ジャンル別施設 .....	18
HISTORY ジャンル別施設 ( POI ) を検索する .....	19
国立公園を検索する .....	19
キャンプ場の検索 .....	19
施設のあるキャンプ場を検索する .....	19
RV サービスを検索する .....	19
検索バーを使用して位置を検索する .....	20
住所を検索する .....	20
カテゴリーを入力して位置を検索する .....	20
カテゴリー内を検索する .....	20
場所検索の結果 .....	21
検索エリアを変更する .....	22
カスタム POI ( ジャンル別施設 ) .....	22
POI Loader をインストールする .....	22
カスタム POI を検索する .....	22
駐車場 .....	23
現在の場所近くの駐車場を検索する .....	23
駐車場の色分けと記号について .....	23
検索ツール .....	23
交差点を検索する .....	23
座標を使用して位置を検索する .....	23
Foursquare .....	23

Foursquare アカウントに接続する .....	24	交通事故情報を検索する .....	31
Foursquare のジャンル別施設を検索する .....	24	地図をカスタマイズする .....	31
Foursquare の場所の詳細を表示する .....	24	地図レイヤーをカスタマイズする .....	31
TripAdvisor .....	24	地図データフィールドを変更する .....	31
TripAdvisor ジャンル別施設 ( POI ) を検索する .....	24	地図表示方法を変更する .....	31
最近検索した位置を表示する .....	24	<b>ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能 .....</b>	<b>31</b>
最近検索した場所のリストを消去する .....	24	スマートフォンとペアリングする .....	32
現在地情報を表示する .....	24	デバイスをペアリングした後のヒント .....	32
緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する .....	25	追加 Bluetooth デバイスのペアリング .....	32
現在地への道順を表示する .....	25	Garmin Drive アプリを使用して住所または場所に移動する .....	32
ショートカットを追加する .....	25	スマート通知 .....	33
ショートカットを削除する .....	25	通知を受信する .....	33
位置を保存する .....	25	ハンズフリー通話 .....	33
位置を保存する .....	25	電話をかける .....	33
現在地を保存する .....	25	電話を受ける .....	33
保存した位置を編集する .....	26	通話中オプションを使用する .....	34
保存した位置にカテゴリーを割り当てる .....	26	電話番号をプリセットとして保存する .....	34
保存した位置を削除する .....	26	ワイヤレスヘッドセット .....	34
<b>地図を使用する .....</b>	<b>26</b>	Bluetooth 機能を有効または無効にする .....	34
地図ツール .....	27	アプリの通知を表示または非表示にする ( Android™ ) .....	34
地図ツールを表示する .....	27	Apple® デバイスの通知カテゴリーを表示または非表示にする .....	34
この先 .....	27	Bluetooth デバイスの取り外し .....	35
この先の場所を表示する .....	27	ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する .....	35
[ この先 ] カテゴリーをカスタマイズする .....	28		
次の都市まで .....	28		
この先の都市や出入口サービスの表示 .....	28		
警告およびアラート記号 .....	28		
制約に関する警告 .....	29		
道路状況に関する警告 .....	29		
アラート .....	30		
トリップ情報 .....	30		
地図からトリップデータを表示する .....	30		
トリップデータフィールドをカスタマイズする .....	30		
軌跡ログを表示する .....	30		
トリップ情報をリセットする .....	30		
進行方向の交通事故を表示する .....	30		
地図上に交通渋滞情報を表示する .....	30		
<b>[ トラフィック ] .....</b>	<b>35</b>		
スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する .....	35		
トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する .....	36		
地図上に交通渋滞情報を表示する .....	36		
交通事故情報を検索する .....	36		
<b>音声コマンド .....</b>	<b>36</b>		
デバイスに話しかける際のヒント .....	36		
Garmin 音声案内ナビゲーションの起動 .....	37		
到着時刻の確認 .....	37		
音声を使用して電話をかける .....	37		

音声を使用してデバイス設定を変更	37
<b>アプリケーションを使用する</b>	<b>37</b>
デバイスのマニュアルの表示	37
トリッププランナー	37
トリップを計画する	38
トリップの場所を編集および並べ替える	38
トリップの目的地の順序を最適化する	38
トリップの経路にあるアトラクションの発見	38
トリップのルート探索オプションを変更する	38
保存されているトリップをナビゲーションする	39
アクティブルートを編集および保存する	39
TracBack®	39
最近のトラックを辿る	39
最近のトラックをトリップとして保存する	39
Fusion-Link™ワイヤレスリモートコントロールアプリ	39
Bluetooth を使用してステレオに接続する	39
ワイヤレスネットワークを使用したステレオへの接続	40
音楽の再生	40
音楽を再生する	40
ソースを選択する	40
再生コントロール	40
オーディオコントロール	41
ゾーンの音量の調整	41
トーンを調整する	41
ゾーンの大音量設定を無効にする	41
補助デバイスのゲインを調整する	41
スピーカーゾーン	41
DSP 設定	42
プリセット	42
放送局をプリセットとして保存する	42
プリセットをリストから選択する	42
プリセットを削除する	42
オーディオ設定	43
スピーカーゾーンの設定	43
サービス履歴をログに記録する	43
サービスカテゴリーを追加する	44
サービスカテゴリーを削除する	44
サービスカテゴリーの名前を変更する	44
サービスの記録を編集する	44
サービスの記録を削除する	44
前のルートと目的地を表示する	44
天気予報を表示する	44
別の都市周辺の天気を表示する	45
Garmin PowerSwitch™アプリ	45
電源スイッチの有効化	46
すべてのスイッチをオフにする	46
ボタンのカスタマイズ	46
スイッチを制御入力へ割り当てる	46
カスタムレイアウトの追加	46
カスタムレイアウトへボタンを追加する	47
カスタムレイアウトでのボタンの配置	47
カスタムレイアウトまたはボタンの削除	47
<b>設定</b>	<b>48</b>
ナビゲーション設定	48
地図および車両設定	48
地図を有効にする	48
ワイヤレスネットワークに接続する	48
Bluetooth 無線技術を有効にする	48
運転者支援の設定	49
トラフィック設定	49
ディスプレイ設定	49
サウンドと通知の設定	50
サウンドと通知の音量を調整する	50
アラームを設定する	50
位置情報サービスを有効または無効にする	50
テキスト言語を設定する	50
日付と時刻の設定	50
デバイス設定	51
設定を初期化する	51
<b>デバイス情報</b>	<b>51</b>
E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示	51
仕様	51

デバイスを充電する	51	アクセサリに電力が供給されています	61
<b>デバイスのメンテナンス</b>	<b>51</b>	バックアップカメラ	61
Garmin サポートセンター	51	BC™ 35 バックアップカメラと Garmin ナビゲーションデバイスをペアリングする	62
Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新	52	有線のバックアップカメラを接続する	62
Garmin Express による地図とソフトウェアの更新	53	バックアップカメラを表示する	63
Garmin Express をインストールする	54	カメラを切り替える	63
デバイスのお手入れ	54	カメラの向きの変更	63
外側ケースのクリーニング	54	電動マウントへのダッシュカーメラの接続	64
タッチスクリーンのクリーニング	54	データ管理	64
盗難防止	54	メモリカードについて	64
デバイスをリセットする	55	地図およびデータ用のメモリカードを挿入する	64
デバイス、マウント、吸着カップを取り外す	55	メモリーカードのフォーマット	65
吸着カップからマウントを取り外す	55	デバイスをコンピュータに接続する	65
フロントガラスから吸着カップを取り外す	55	コンピュータからデータを転送する	65
<b>トラブルシューティング</b>	<b>55</b>	コンピュータから GPX ファイルを転送する	65
吸盤がフロントガラスに取り付けられない	55	Garmin Drive アプリで GPX ファイルをエクスポートする	66
運転中にマウントでデバイスが所定の位置に保持されない	55	Garmin Drive アプリを使用した GPX ファイルのインポート	66
デバイスで衛星信号を受信できない	55	メモリーカードを使用した GPX ファイルのエクスポート	66
デバイスを車両で充電できない	55	メモリーカードを使用した GPX ファイルのインポート	66
充電しても電池の電力が長持ちしない	56	追加の地図を購入する	66
デバイスがスマートフォンに接続されません	56	アクセサリーを購入する	67
<b>付録</b>	<b>56</b>		
Garmin PowerSwitch	56		
取り付けに関する注意事項	56		
デバイスの取り付け	57		
前面カバーを開く	58		
アクセサリーの接続	59		
制御入力の接続	59		
デバイスを車両電源に接続する	60		
Garmin ナビゲーションデバイスとのペアリング	60		
Garmin PowerSwitch 仕様	61		
トラブルシューティング	61		
自分の Garmin PowerSwitch が接続したままになりません	61		

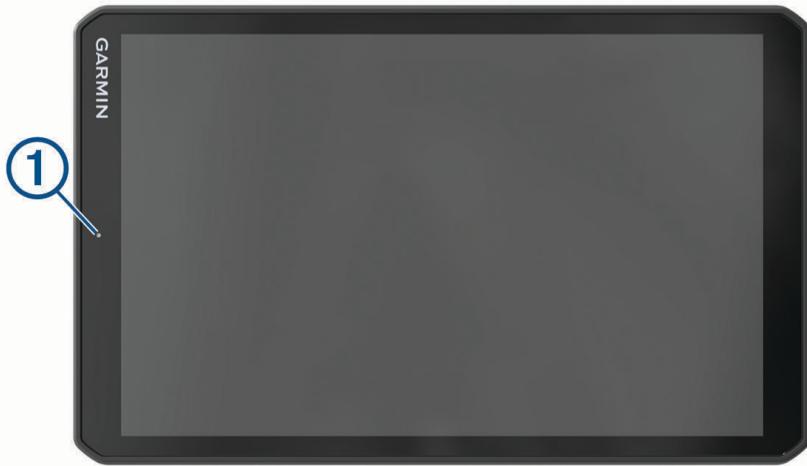
# はじめに

## △ 警告

製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全および製品に関する警告と注意事項』ガイドを参照してください。

- デバイスで地図とソフトウェアを更新します (Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新, 52 ページ)。
- デバイスを車両に取り付けて電源に接続します (車両へのデバイスの取り付けと電源の供給, 2 ページ)。
- 音量 (サウンドと通知の音量を調整する, 50 ページ) とディスプレイの輝度 (画面の輝度を調整する, 9 ページ) を調整します。
- キャンパーの車両プロファイルを設定します (車両プロファイルを追加する, 9 ページ)。
- 目的地 (ナビゲーションを開始する, 12 ページ) に移動します。

## デバイスの概要



①	ハンズフリー通話および音声コマンド用マイク
②	音量調節
③	電源キー
④	Micro USB 電源およびデータポート
⑤	地図およびデータメモリカードスロット
⑥	14ピンコネクタ付き磁気マウントインターフェイス
⑦	スピーカー

## 車両へのデバイスの取り付けと電源の供給

### △ 警告

この製品には、リチウムイオン電池が使用されています。電池を高温になる場所に放置すると、怪我や製品損傷の可能性があるので、直射日光を避けた場所で装置を保管してください。

デバイスとマウントの両方に磁石が取り付けられています。特定の状況下では、磁石が一部の体内医療機器や電子機器（ペースメーカー、インシュリンポンプ、ノートパソコンのハードドライブなど）と干渉する可能性があります。デバイスを医療機器や電子機器に近づけないでください。

デバイスをバッテリーで使用する前に、バッテリーを充電する必要があります。

- レバー①を開き、吸盤をフロントガラスに押し付けてレバーをフロントガラスの方向に戻します。  
レバーはフロントガラスの上部に向いている必要があります。



- 車両電源ケーブル②をマウントのポートに接続します。

- 3 必要に応じて、吸着カップアームのつまみネジ ③ とボールマウントのナット ④ を緩め、見やすく操作しやすいようにマウントを調整します。



- 4 吸着カップアームのつまみネジとボールマウントのナットを締めます。

- 5 デバイスを磁気マウントに載せます。



- 6 車両の電源ケーブルの反対側の端を、車両の電源コンセントに接続します。

## ダッシュボードへのネジ留め式マウントの取り付け

ネジ留め式ボールマウントをダッシュボードに取り付ける前に、ダッシュボード上の適切な位置を選択する必要があります。

### ⚠️ 警告

取り付け場所がすべての適用法および条例を遵守していること、また車両の安全な操作中に視界を妨げないことを保証する責任はお客様にあります。

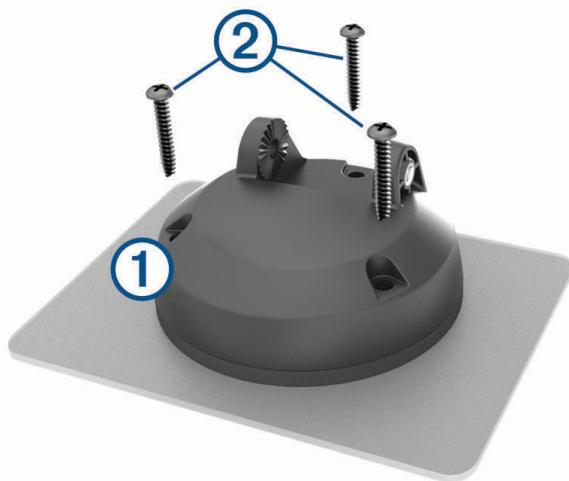
### 注記

車両にパイロット穴を開け、マウントを取り付けるときには、ワイヤ、計器、エアバッグ、エアバッグカバー、HVACなどは避けてください。Garmin®は、取り付けによって生じた損害や結果については一切責任を負いません。

### 注記

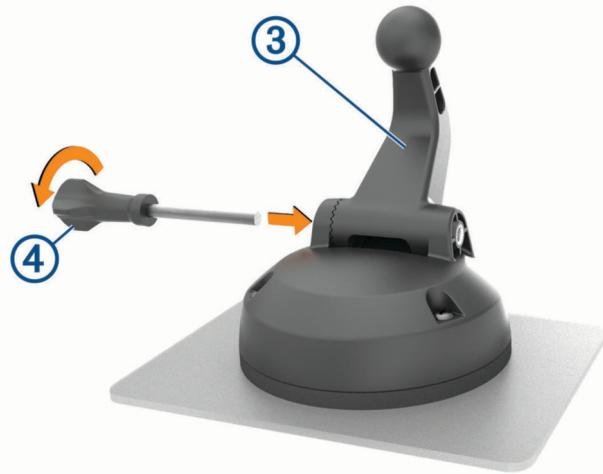
Garminは、専門家によるマウントの取り付けを推奨しています。

- 1 選択した場所にマウント①を配置します。



- 2 マウントをテンプレートとして使用し、3箇所のネジ位置に印を付けます。
- 3 パイロットホールを開けます（オプション）  
一部のタイプの取り付け材質では、パイロットホールをドリルで開ける必要があります。
- 4 付属のネジ②を使用して、マウントを表面にしっかりと固定します。

5 ポールマウントアーム③をマウントに挿入します。

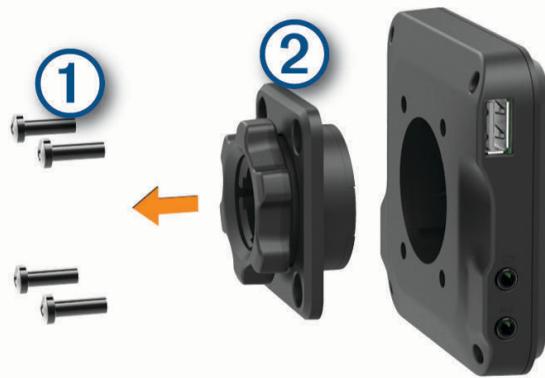


6 蝶ネジ④をマウントに挿入し、締め付けてボールマウントアームを固定します。

### ボールマウントアダプターの取り付け

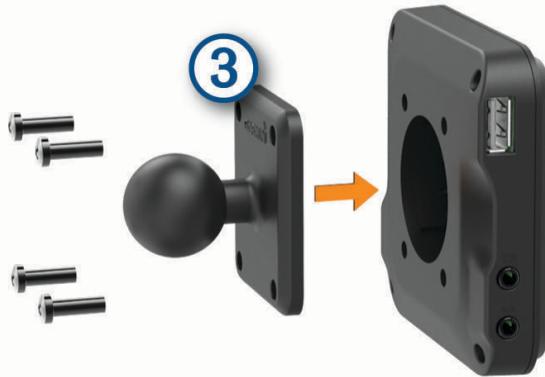
お使いのデバイスには、サードパーティ製マウントソリューションと互換性のある 1 インチボールマウントが付属しています。

1 マウントソケット②を磁気マウントに固定している 4 本のネジ①を外します。



2 マウントソケットを取り外します。

3 手順 1 で取り外したネジを使用して、1 インチボールマウント③を磁気マウントに固定します。



## デバイスの電源をオンまたはオフにする

- デバイスの電源をオンにするには、電源キー①を押すか、デバイスを電源に接続します。



- デバイスを省電力モードにするには、デバイスの電源がオンになっている状態で電源キーを押します。省電力モードになっている間は画面がオフになり、デバイスはわずかな電力しか消費しませんが、すぐに復帰して使用できます。  
ヒント：バッテリーを充電している間にデバイスを省電力モードにすることにより、デバイスの充電時間を短縮できます。
- デバイスの電源を完全にオフにするには、画面にプロンプトが表示されるまで電源キーを押し続け、電源オフを選択します。

## GPS信号を捕捉する

ナビゲーションデバイスの電源をオンにしたとき、GPS レシーバーは衛星データを収集して現在地を確定する必要があります。衛星信号の取得に要する時間は、ナビゲーションデバイスを最後に使用した場所からどのくらい離れているか、空をはっきり見渡せる場所にいるかどうか、あるいは最後にナビゲーションデバイスを使用してからどのくらい経っているかなど、さまざまな要素によって異なります。初めてナビゲーションデバイスの電源をオンにしたときは、衛星信号の取得に数分かかることがあります。

- 1 デバイスの電源をオンにします。
- 2 ステータスバーの📍表示を確認します。位置情報サービスが有効になっていない場合は有効にします（[位置情報サービスを有効または無効にする](#)、50 ページ）。
- 3 必要な場合には、高層ビルや樹木から離れて、空を見渡すことができる開けた場所に移動します。  
デバイスが現在位置を特定するまで、ナビゲーションマップの上部には衛星の捕捉が表示されます。

## メイン画面

注：カスタマイズした場合、ホーム画面のレイアウトが異なる場合があります。



- ① 下にスワイプすると、通知が表示されます。  
下に 2 回スワイプすると、設定やバックライトの輝度をすばやく変更できます。
- ② 選択すると、ルートを開始します。
- ③ 選択すると、地図を表示できます。
- ④ 選択すると、車両プロファイルを変更できます。
- ⑤ 選択すると、現在地の天気情報が表示されます。 Garmin Drive™ アプリが必要です。
- ⑥ 選択すると、スマート通知が表示されます。 Garmin Drive アプリが必要です。
- ⑦ 選択してアプリドロワーを開きます。アプリドロワーには、お使いのデバイスにインストールされている全アプリのショートカットが表示されます。
- ⑧ 長押しすると、壁紙をカスタマイズしたり、ウィジェットをホーム画面に追加したりできます。

## アプリの起動

ホーム画面には、よく使うアプリのショートカットが表示されます。アプリドロワーでは、お使いのデバイスにインストールされている全アプリが、2つのタブに分類されて表示されます。ナビゲーションタブには、ナビゲーション、配送、サービス時間の記録に役立つ Garmin アプリが表示されます。ツールタブには、通信やその他の作業に役立つアプリが表示されます。

アプリの起動オプションを選択する：

- ホーム画面からアプリのショートカットを選択します。
- を選択し、タブ、アプリの順に選択します。

## ショートカットをホーム画面に追加する

- を選択します。
- アプリタブを選択すると、その他のアプリが表示されます。
- アプリケーションを長押しして、ホーム画面上の位置にドラッグします。

## 通知の表示

- 画面上部から下にスワイプします。  
通知のリストが表示されます。
- 次の中からオプションを選択します。
  - 通知に記載されているアクションまたはアプリを起動するには、通知を選択します。
  - 通知を閉じるには、通知を右にスワイプします。

## ステータスバーアイコン

ステータスバーはメインメニューの一番上に配置されています。ステータスバーアイコンはデバイスの機能情報を表示します。

	位置情報サービスが有効になっています (位置情報サービスを有効または無効にする, 50 ページ)。
	Bluetooth®技術が有効になっています。
	Bluetooth デバイスに接続しています。
	Wi-Fi®ネットワークに接続されています (ワイヤレスネットワークに接続する, 48 ページ)。
	アクティブな車両プロファイル。下に 2 回スワイプして、車両プロファイル設定 (車両プロファイル, 9 ページ) の表示を選択します。
	バッテリー充電レベル。

## タッチスクリーンを使用する

- 画面をタップしてアイテムを選択します。
- 画面を指でドラッグまたはスワイプしてパンまたはスクロールします。
- 画面上で 2 本の指でつまむとズームアウトします。
- 画面上で 2 本の指を広げるとズームインします。

## 画面の輝度を調整する

このデバイスは、周辺光センサーを使用して、車両の状況に応じて画面の明るさを自動的に調整できます（ディスプレイ設定、49 ページ）。またユーザーは、通知パネルまたは設定メニューを使用して、手動で輝度を調整することもできます。

### 1 次の中からオプションを選択します。

- ・画面の上部から下に 2 回スワイプして、通知パネルのクイック設定を開きます。
- ・設定 > デバイス > ディスプレイ > 輝度レベルの順に選択します。

### 2 スライダーバーを使用して、輝度を調整します。

## 車両プロファイル

### △ 警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

ルート探索およびナビゲーションは、車両プロファイルに基づいて計算されます。有効化された車両プロファイルは、ステータスバーのアイコンで示されます。デバイスのナビゲーション設定と地図設定は、車両タイプごとに個別にカスタマイズできます。

キャンパーの車両プロファイルを有効化するとき、デバイスは、寸法、重量、および車両に関する入力した他の特性に基づいて、ルート内の制限区域や通行不能な区域を含めないようにします。

## 車両プロファイルを追加する

お使いのデバイスで使用する各キャンパーの車両プロフィールを追加してください。

### 1 ホーム画面から車両プロフィールを選択します。

### 2 車両タイプを選択します：

- ・キャンパーに完全に接続してモーターホームを追加するには、モーターホームを選択します。
- ・トレーラーを牽引するモーターホームを追加するには、トレーラー付きモーターホームを選択します。
- ・乗用車の後ろに牽引するキャンパーを追加するには、トレーラー付き車両を選択します。

### 3 必要に応じて、トレーラータイプを選択します：

- ・標準連結装置で牽引するキャンパーを追加するには、トラベルトレーラーを選択します。
- ・フィフスホイール連結装置で牽引するキャンパーを追加するには、フィフスホイールトレーラーを選択します。  
注：このトレーラータイプは利用できない地域もあります。
- ・標準連結装置で牽引するボートトレーラーを追加するには、ボートトレーラーを選択します。
- ・標準連結装置で牽引するトレーラーを追加するには、トレーラーを選択します。

### 4 画面上の指示に従って、車両特性を入力します。

車両プロフィールを追加した後で、プロフィールを編集して、追加の詳細情報を入力できます（車両プロファイルを編集する、10 ページ）。

## 乗用車プロファイル

乗用車プロフィールは、トレーラーのない自動車での使用を目的としたロード済みの車両プロフィールです。乗用車プロフィールを使用している間は、デバイスが普通車のルートを計算するため、大型車のルート指定はできません。乗用車プロフィールを使用している間は、大型車に固有の機能および設定が一部使用できません。

## 車両プロファイルの切り替え

デバイスをオンにするたびに、車両プロファイルの選択を求められます。別の車両プロファイルにいつでも手動で切り替えることができます。

### 1 次の中からオプションを選択します。

- 画面上部から下に2回スワイプして、やなどの車両プロフィールアイコンを選択します。
- メイン画面で、車両プロフィールのウィジェットを選択します([メイン画面, 7ページ](#))。

### 2 車両プロファイルを選択します。

測定値や重量とともに車両プロファイル情報が表示されます。

### 3 選択を選択します。

## プロパンタンクを追加する

注：この機能を利用できない製品モデルもあります。

車両プロファイルにプロパンタンクを追加すると、デバイスは、ルートに影響する可能性があるプロパンタンクの制限のある区域の通過を回避します。また、デバイスは、プロパンタンクを遮断する必要のある区域に近づいたときにも警告を出します。

### 1 車両プロフィールから、 タンクを追加を選択します。

### 2 プロパンタンクの重量を入力し、保存を選択します。

## 車両プロファイルを編集する

基本的な車両プロファイル情報を変更したり、最高速度などの詳細情報を車両プロファイルに追加できます。

### 1 ホーム画面から、車両プロフィールウィジェットを選択します([メイン画面, 7ページ](#))。

### 2 編集する車両プロファイルを選択します。

### 3 次の中からオプションを選択します。

- 車両プロフィール情報を編集するには、を選択し、編集するフィールドを選択します。
- 車両プロフィールの名前を変更するには、 >  プロファイル名の変更の順に選択します。
- 車両プロフィールを削除するには、 >  削除の順に選択します。

# ドライバーへの注意喚起の機能とアラート

## △ 注意

ドライバーアラートと制限速度機能は情報提供を行っているだけであり、すべての速度制限標識を守り、安全な運転の判断を行う責任はいかなる場合でも運転者にあります。Garminは、適用されるすべての交通法規および標識に違反したことにより受ける罰金または出頭命令については一切責任を負いません。

このデバイスは、慣れ親しんだ地域で運転している場合でも、より安全な運転や効率の向上に役立つ機能を備えています。デバイスは、アラートごとに通知音または音声メッセージを再生し、情報を表示します。一部の運転者アラートについて通知音をオン / オフできます。アラートによっては、利用できない地域もあります。

**学校:** デバイスが通知音を再生し、この先の学校やスクールゾーンに関する制限速度（ある場合）を表示します。

**制限速度超過:** 現在の道路に掲示されている制限速度を超えると、デバイスは通知音を再生し、速度制限アイコンに赤枠を表示します。

**制限速度変更:** デバイスは通知音を再生し、この先の制限速度を表示するため、速度を調節する準備ができます。

**踏切:** デバイスが通知音を再生し、この先の踏切を示します。

**動物出没:** デバイスが通知音を再生し、この先の動物出没エリアを示します。

**カーブ:** デバイスが通知音を再生し、道路のカーブを示します。

**渋滞:** 渋滞に速い速度で近づくと、デバイスが通知音を再生し、渋滞が発生していることを示します。この機能を使用するには、デバイスでトラフィック情報を受信している必要があります（[\[トラフィック\]](#), 35ページ）。

**接地の危険あり:** 車両が接地する可能性のある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

**つづら折れ:** つづら折れのリスクがある道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

**道幅減少:** 車両が通過するには狭すぎる道路に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

**急な下り坂:** 急な下り坂に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

**州および国の境界:** 州または国の境界に接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

**プロパンをオフにする:** プロパンをオフにしなければならないエリアに接近すると、デバイスは通知音を再生してメッセージを表示します。

## ドライバーアラートを有効または無効にする

数種類のドライバーアラートを有効または無効にすることができます。

1 設定 > 安全運転支援 > オーディブルドライバーアラートの順に選択します。

2 各アラートの横にあるチェックボックスをオンまたはオフにします。

## 赤信号カメラとスピードカメラ

### 注記

Garminは、赤外線カメラやスピードカメラのデータベースの正確性、またはその使用による影響に対して一切の責任を負いません。

**注:** この機能は、一部の国、または製品モデルではご利用いただけません。

製品モデルによっては、一部地域で赤信号カメラおよびスピードカメラの位置に関する情報が利用できます。報告されたスピードカメラや赤信号カメラに近づくと、アラートされます。

- 一部の地域では、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンをデバイスに接続すると、ライブの赤信号データとスピードカメラのデータを受信できます。
- Garmin Express™ソフトウェア ([garmin.com/express](http://garmin.com/express)) を使用してデバイスに保存されたカメラデータベースを更新できます。最新のカメラ情報を受信するために、デバイスを頻繁に更新してください。

# 目的地へのナビゲーション

## ルート

ルートとは、現在地から1つ以上の目的地までの経路のことです。

- デバイスは、ルート計算モード(ルート探索方法を変更する, 16ページ)や回避(遅延、有料道路、およびエリアを回避する, 16ページ)などで設定した環境設定に基づいて、目的地までの推奨ルートを計算します。
- デバイスは、アクティブな車両プロファイルに適していない道路を自動的に回避します。
- ユーザーは、推奨ルートを使用して目的地へのナビゲーションをすばやく開始することも、代替ルートを選択することもできます(ナビゲーションを開始する, 12ページ)。
- 使用または回避したい特定の道路がある場合は、ルートをカスタマイズできます。
- ルートに複数の目的地を追加できます(ルートに場所を追加する, 15ページ)。

## ナビゲーションを開始する

1 目的地検索を選択し、場所を検索します(位置の検索と保存を行う, 18ページ)。

2 位置を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- 推奨ルートを使用してナビゲーションを開始するには、出発を選択します。
- 代替ルートを指定するには、▼を選択し、ルートを選択します。  
地図の右側に代替ルートが表示されます。
- ルートの経路を編集するには、▼ > ルートの編集を選択し、ルートにシェイピングポイントを追加します。

デバイスは場所までのルートを計算し、音声案内と地図上の情報によりルートを案内します(地図上のルート, 12ページ)。ルートにある主要な道路のプレビューが地図の端に数秒間表示されます。

追加の目的地で停止する必要がある場合、ルートに場所を追加できます(ルートに場所を追加する, 15ページ)。

## 地図を使用してナビゲーションを開始する

地図から場所を選択してナビゲーションを開始できます。

1 地図表示を選択します。

2 地図をドラッグおよび拡大/縮小して、検索する範囲を表示します。

3 ストリート、交差点、または住所位置などのポイントを選択します。

4 出発を選択します。

## 帰宅する

初めて自宅へのルートを開始すると、自宅の場所の入力を求めるメッセージがデバイスに表示されます。

1 目的地検索 > 自宅への順に選択します。

2 必要に応じて、自宅の場所を入力します。

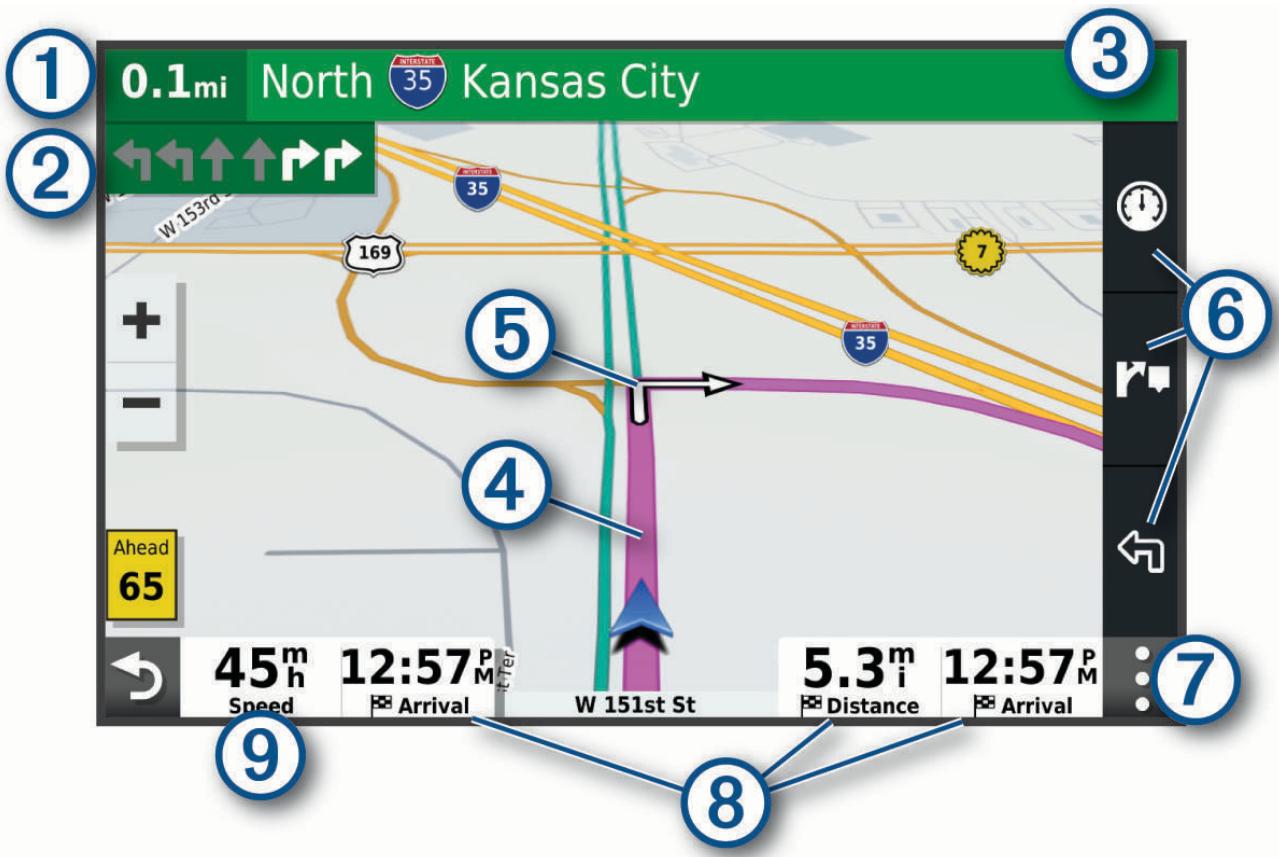
## 自宅の場所を編集する

1 目的地検索 > ■ > 自宅登録の順に選択します。

2 自宅の場所を入力します。

## 地図上のルート

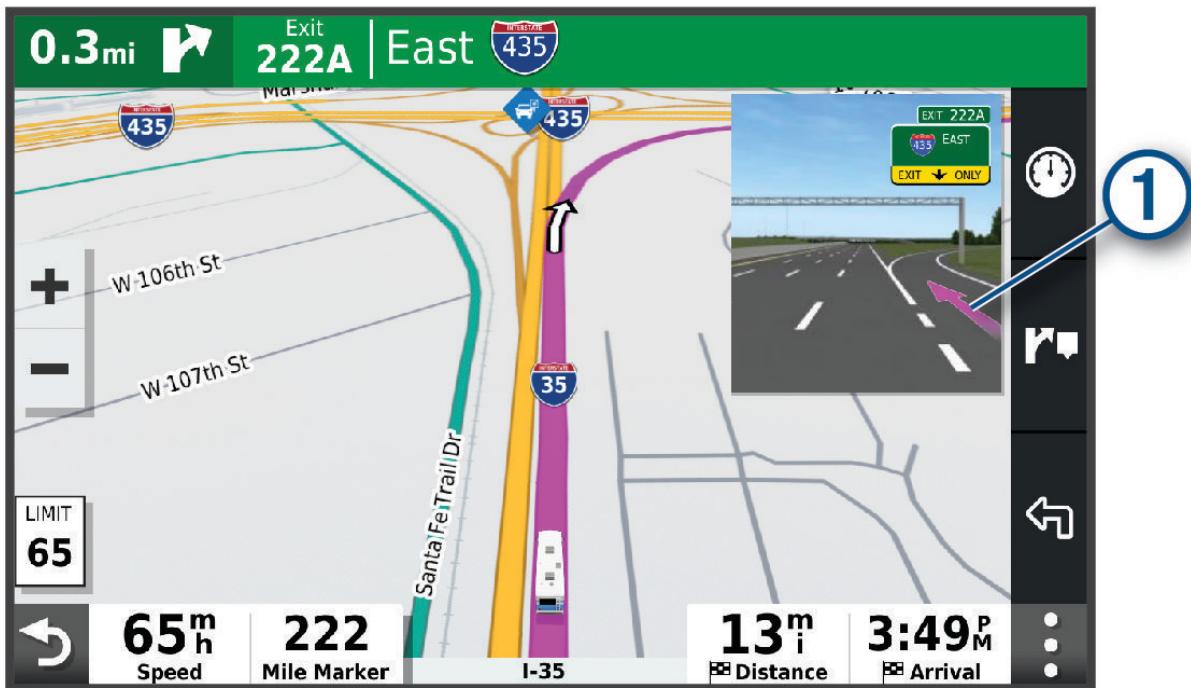
走行中、デバイスは、音声と地図上の情報で、目的地までのルートを案内します。方向転換地点や出口、またはその他のアクションに関する指示は、地図の一番上に表示されます。



- ① 次のアクションまでの距離。
- ② ルートでの次のアクション。次の方向転換、出口、その他のアクションおよび（利用可能な場合）走行すべきレーンを示します。
- ③ 次のアクションに関連する通りや出口の名前。
- ④ 地図上に強調表示されたルート。
- ⑤ ルートでの次のアクション。地図上の矢印はこの先のアクションの場所を示します。
- ⑥ 地図ツールのショートカット。
- ⑦ 地図ツール。ツールを選択すると、ルートと周辺の詳細情報を表示できます。
- ⑧ データフィールド。  
ヒント：これらのフィールドにタッチすると、表示される情報を変更できます（[地図データフィールドを変更する](#)、31 ページ）。
- ⑨ 車速。

## アクティブ車線案内

ルートで転換地点、出口、またはインターチェンジに近づくと、道路の詳細なシミュレーションがある場合は地図の横に表示されます。色付きの線①が方向転換する車線を示します。



## 方向転換と方向指示を表示する

ルートのナビゲーション中に、ルートのこの先の方向転換、レーン変更、その他の方向指示を表示できます。

1 地図から、オプションを選択します。

- ナビゲーションするにつれてこの先の方向転換や方向指示を表示するには、⋮ > 方向転換を選択します。地図ツールには、地図の横に次の複数の方向転換や方向指示が表示されます。ルートをナビゲーションするにつれて、このリストは自動的に更新されます。
- ルート全体の方向転換と方向指示の完全なリストを表示するには、地図上部のテキストバーを選択します。

2 方向転換または方向指示を選択します(オプション)。

詳細情報が表示されます。利用可能な場合は、主要な分岐点が画像で表示されます。

## 地図にルート全体を表示する

1 ルートのナビゲーション中に、地図上の任意の場所を選択します。

2 [ ]を選択します。

## 目的地に到着する

目的地に近づくと、デバイスはルートの達成に役立つ情報を提供します。

- [ ]は地図上の目的地の場所を示し、目的地に近づいていることを音声プロンプトがアナウンスします。
- 一部の目的地に近づくと、デバイスが自動的に駐車場を提案します。詳細を選択すると、推奨駐車場の全リストを表示できます(「目的地の近くの駐車場」、15 ページ)。
- 目的地で停車した場合、デバイスはルートを自動的に終了します。デバイスが到着を自動的に検出しなかった場合は、停止を選択してルートを終了できます。

## 目的地の近くの駐車場

デバイスは、目的地の近くの駐車場所を探すのに役立ちます。一部の目的地に近づくと、デバイスが自動的に駐車場を提案します。

### 1 次の中からオプションを選択します。

- デバイスが駐車場を提案したら、**詳細**を選択して、すべての推奨駐車場を表示します。

注：任意の推奨駐車場を選択すると、ルートが自動的に更新されます。

- デバイスが駐車場を提案していない場合は、**目的地検索** > **カテゴリー** > **駐車場**の順に選択し、 > **目的地周辺**を選択します。

### 2 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の1つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します（オプション）。

注：詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。

### 3 駐車場を選択し、出発を選択します。

デバイスは、駐車場にガイドします。

## アクティブルートを変更する

### ルートに場所を追加する

ルートに場所を追加する前に、ナビゲーションを実行している必要があります（ナビゲーションを開始する、12ページ）。

ルートの途中または最後に場所を追加できます。たとえば、ルートの次の目的地としてガソリンスタンドを追加できます。

ヒント：複数の目的地またはスケジュールされた経由地がある複雑なルートを作成するには、トリッププランナーを使用して、トリップの計画、スケジュール、および保存ができます（トリップを計画する、38ページ）。

### 1 地図で > **目的地検索**を選択します。

### 2 位置を検索します（位置の検索と保存を行う、18ページ）。

### 3 位置を選択します。

### 4 出発を選択します。

### 5 次の中からオプションを選択します。

- ルートの次の目的地として場所を追加するには、**次の経由地を追加**を選択します。

- ルートの最後に場所を追加するには、**最後の経由地追加**を選択します。

- 場所を追加して、ルートでの目的地の順序を編集するには、**アクティブルートに追加**を選択します。

デバイスは、追加された場所を含めるためにルートを再計算し、順番に目的地までのルートを案内します。

## ルートを形成する

ルートを形成する前に、ルートを開始する必要があります（ナビゲーションを開始する、12ページ）。

手動でルートを形成してコースを変更できます。これにより、ルートに目的地を追加せずに、特定の道路を使用するようにルートの方向を選択することや特定の地域を通過することができます。

### 1 地図上の任意の場所を選択します。

### 2 ルートを形成するを選択します。

ヒント：を選択して、地図上でズームインし、より正確な場所を選択することもできます。

デバイスはルート形成モードになり、ルートを再計算して選択した場所を通過します。

### 3 出発を選択します。

### 4 必要に応じて、オプションを選択します。

- ルートにさらにシェイピングポイントを追加するには、地図上で追加の場所を選択します。

- シェイピングポイントを削除するには、シェイピングポイントを選択し、**削除**を選択します。

## 迂回路を検索する

ルート上の指定した距離の迂回路または特定の道路周辺の迂回路を検索できます。これは、工事ゾーン、道路閉鎖、または走行が難しい道路条件が発生したときに役立ちます。

- 1 地図で : > ルートの編集を選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 距離を指定して迂回するには、**距離で迂回**を選択します。
  - ・ ルート上の特定の道路を迂回するには、**道路別迂回路**を選択します。

## ルート探索方法を変更する

- 1 設定 > ナビゲーション > 計算モードの順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
  - ・ **時間優先**を選択すると、一番早く目的地に到達できるルートを計算しますが、走行距離は長くなることがあります。
  - ・ **直行**を選択すると、道路状況にかかわらず、ポイント間のルートを計算します。
  - ・ **距離優先**を選択すると、走行距離が短くなるようにルートを計算しますが、走行時間は長くなることがあります。

## ナビゲーションを停止する

- ・ 地図で、: > 停止を選択します。
- ・ ホーム画面で、停止を選択します。

## 推奨ルートを利用する

この機能を使用する前に、1つ以上の場所を保存して、走行履歴機能を有効にする必要があります ([ナビゲーション設定, 48 ページ](#))。

myTrends™ 機能を使用すると、走行履歴、特定の曜日や時刻に基づいてデバイスが目的地を予測します。保存した位置まで数回走行すると、地図上のナビゲーションバーに予定移動時間およびトラフィック情報と共にその位置が表示されます。

位置までのルート候補を表示するには、ナビゲーションバーを選択します。

## 遅延、有料道路、およびエリアを回避する

### ルート上の交通遅延を回避する

交通の遅延を回避する前に、トラフィック情報を受信している必要があります ([スマートフォンを使用してトラフィックデータを受信する, 35 ページ](#))。

デフォルトでは、デバイスは自動的にルートを最適化して交通遅延を回避します。 [ トラフィック設定 ] でのオプションを無効にしている場合 ([トラフィック設定, 49 ページ](#))、手動で交通遅延を表示し、回避できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、: > トラフィックを選択します。
- 2 代替ルートを選択します（利用可能な場合）。
- 3 出発を選択します。

## 有料道路を回避する

デバイスは、有料道路、有料橋などの有料区域、または渋滞区域の通過を回避できます。他に妥当なルートがない場合は、ルートに有料区域が含まれる場合があります。

1 設定 > ナビゲーションの順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

注：メニューは、地域とデバイス上の地図データにより変化します。

- ・有料道路を選択します。

- ・通行料金 > 有料道路を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ・有料区域を通過する前に毎回確認するには、常に確認するを選択します。

- ・有料道路を常に回避するには、回避を選択します。

- ・有料道路を常に許可するには、許可を選択します。

## 有料ステッカーを回避する

デバイスの地図データに詳細な有料ステッカー情報が含まれている場合は、各国で有料ステッカーが必要とされる道路を避けたり、進入を許可したりできます。

注：この機能を利用できない地域もあります。

1 設定 > ナビゲーション > 通行料金 > 料金ステッカーの順に選択します。

2 国を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ・有料ステッカーが必要とされる区域を通過する前に毎回確認するには、常に確認するを選択します。

- ・有料ステッカーが必要とされる道路を常に回避するには、回避を選択します。

- ・有料ステッckerが必要とされる道路を常に許可するには、許可を選択します。

## 道路の回避機能

1 設定 > ナビゲーション > 回避の順に選択します。

2 ルート上で回避したい道路の種類を選択し、OKを選択します。

## 環境ゾーンを回避する

デバイスは、お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域を回避できます。このオプションは、アクティブな車両プロファイルにある車両タイプに適用されます（[車両プロファイル](#), 9 ページ）。

1 設定 > ナビゲーション > 環境ゾーンの順に選択します。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・環境ゾーンを通過する前に毎回確認するには、常に確認するを選択します。

- ・環境ゾーンを常に回避するには、回避を選択します。

- ・環境ゾーンを常に許可するには、許可を選択します。

## カスタム回避

カスタム回避では、道路を含む特定のエリアまたは区域を選択して回避できます。デバイスは、ルートを計算するときは、他に妥当なルートがない場合を除き、これらのエリアと道路を回避します。

## 道路を回避する

1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。

2 必要に応じて、回避の追加を選択します。

3 回避道路の追加を選択します。

4 回避する道路区域の始点を選択し、次へを選択します。

5 道路区域の終点を選択し、次へを選択します。

6 完了を選択します。

## エリアを回避する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 必要に応じて、回避の追加を選択します。
- 3 回避エリアの追加を選択します。
- 4 回避するエリアの左上隅を選択し、次へを選択します。
- 5 回避するエリアの右下隅を選択し、次へを選択します。  
選択されたエリアが地図上に影付きで表示されます。
- 6 完了を選択します。

## カスタム回避を無効にする

カスタム回避を削除せずに無効にします。

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避の順に選択します。
- 2 回避を選択します。
- 3  > 無効の順に選択します。

## カスタム回避を削除する

- 1 設定 > ナビゲーション > カスタム回避 >  の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
  - ・ すべてのカスタム回避を削除するには、すべて選択 > 削除の順に選択します。
  - ・ カスタム回避を1件削除するには、削除したいカスタム回避を選択し、削除を選択します。

## 位置の検索と保存を行う

デバイスにロードされた地図には、レストランやホテル、自動車関連などの場所や詳細なストリート情報が含まれています。目的地検索メニューは、参照、検索、情報の保存のために利用できる複数の方法により、目的地の検索に役立ちます。

メインメニューで目的地検索を選択します。

- ・ デバイス上のすべての場所をすばやく検索するには、 検索 (検索バーを使用して位置を検索する, 20 ページ)。
- ・ 住所を検索するには、住所 (住所を検索する, 20 ページ)。
- ・ カテゴリーごとにロード済みのジャンル別施設を参照または検索するには、カテゴリー (カテゴリーを入力して位置を検索する, 20 ページ)。
- ・ 別の都市や地域の周辺を検索するには、現在の検索エリアの横にある  を選択します (検索エリアを変更する, 22 ページ)。
- ・ 保存済み位置情報を表示および編集するには、保存済み (位置を保存する, 25 ページ)。
- ・ 最近検索結果から選択した場所を表示するには、最近表示した項目 (最近検索した位置を表示する, 24 ページ)。
- ・ RV 駐車場およびキャンプ場を検索するには、全てのキャンプ場を選択します (キャンプ場の検索, 19 ページ)。
- ・ Foursquare® のジャンル別施設を参照、検索、チェックインするには、Foursquare (Foursquare のジャンル別施設を検索する, 24 ページ)。
- ・ TripAdvisor® のジャンル別施設とレビューを参照および検索するには、TripAdvisor (TripAdvisor, 24 ページ)。
- ・ HISTORY® のジャンル別施設、写真、情報を参照および検索するには、HISTORY (HISTORY ジャンル別施設 (POI) を検索する, 19 ページ)。
- ・ 国立公園を検索して、公園地図を参照するには、国立公園 (国立公園を検索する, 19 ページ)。
- ・ 特定の地理座標に移動するには、座標 (座標を使用して位置を検索する, 23 ページ)。

## ジャンル別施設

ジャンル別施設は、有用と思われるまたは興味深い場所です。ジャンル別施設は、カテゴリー別に分類されガソリンスタンド、レストラン、ホテル、娯楽施設などよく知られた移動先を含めることができます。

## HISTORY ジャンル別施設 ( POI ) を検索する

注：この機能は、すべての製品モデルおよびすべての地域で利用できるわけではありません。

このデバイスには HISTORY ジャンル別施設が登録されています。これにより、歴史的建造物、文化財、博物館、歴史的に重要な事件が起こった場所などを検索して、詳細を見るることができます。

- 1 目的地検索 > HISTORY の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 **H**を選択すると、その場所の写真と歴史の概要が表示されます。

## 国立公園を検索する

北米または米国の地図が付属するデバイスマodelには、米国の国立公園の詳細情報も含まれています。国立公園または国立公園内の場所へのナビゲーションすることができます。

- 1 目的地検索 > 国立公園の順に選択します。  
国立公園が、現在地から近い順に一覧で表示されます。
- 2 検索を選択して、公園名のすべてまたは一部を入力して、結果を絞り込みます（オプション）。
- 3 国立公園を選択します。  
公園内の機能や施設のカテゴリーリストが公園名の下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 公園までのナビゲーションを開始するには、出発を選択します。
  - ・ 公園の詳細情報、機能、施設を確認するには、❶を選択します。
  - ・ 公園内の場所をすばやく検索するには、公園名の下のリストからカテゴリを選択して、場所を選択します。

## キャンプ場の検索

目的地検索 > 全てのキャンプ場を選択します。

## 施設のあるキャンプ場を検索する

利用可能な施設に応じて RV 駐車場やキャンプ場を検索できます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 PlanRV Parks、ACSI、Ultimate Public CampgroundsなどのRV駐車場およびキャンプ場検索プロバイダを選択します。  
注：製品モデルによっては、一部の検索プロバイダが利用できないことがあります。
- 3 必要な場合は、施設別にフィルタリングを選択し、1つ以上の施設を選択して、保存を選択します。
- 4 位置を選択します。

## RV サービスを検索する

注：この機能を利用できない地域もあります。

RV の修理やレッカー移動などのサービスを提供している最寄の場所を検索できます。

目的地検索 > PlanRV Services の順に選択します。

## 検索バーを使用して位置を検索する

検索バーでは、カテゴリー、ブランド名、住所、または都市名を入力して位置を検索します。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 検索バーで検索を選択します。
- 3 検索語の全体または一部を入力します。  
検索語の候補が検索バーの下に表示されます。
- 4 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 業種名を検索するには、「映画館」などのカテゴリー名を入力します。
  - ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
  - ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
  - ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
  - ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。
  - ・ 座標を検索するには、緯度 / 経度を入力します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 検索語の候補を使用して検索するには、検索語を選択します。
  - ・ 入力したテキストを使用して検索するには、を選択します。
- 6 必要に応じて、位置を選択します。

## 住所を検索する

注：デバイスにロードした地図データによっては、手順が異なる場合があります。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 必要に応じて、を選択して、別の都市または地域の周辺を検索します。
- 3 住所を選択します。
- 4 画面に表示される指示に従い、住所情報を入力します。
- 5 番地等を選択します。

## カテゴリーを入力して位置を検索する

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 カテゴリーを選択するか、または カテゴリーを選択します。
- 3 必要に応じて、サブカテゴリーを選択します。
- 4 位置を選択します。

## カテゴリー内を検索する

ジャンル別施設の検索後、ある特定のカテゴリーに、最後に選択した目的地からさかのぼって4か所を含むクリックサーチリストが表示される場合があります。

- 1 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 画面右側のクリックサーチリストから、目的地を選択します。  
クリックサーチリストには、選択したカテゴリーで最近検索した場所のリストが表示されます。
  - ・ 必要に応じてサブカテゴリーを選択し、目的地を選択します。

## 場所検索の結果

場所検索の結果はリストに表示され、最も近い場所が一番上に表示されます。番号付きの各場所はマップ上にも表示されます。下にスクロールしてより多くの結果を表示できます。

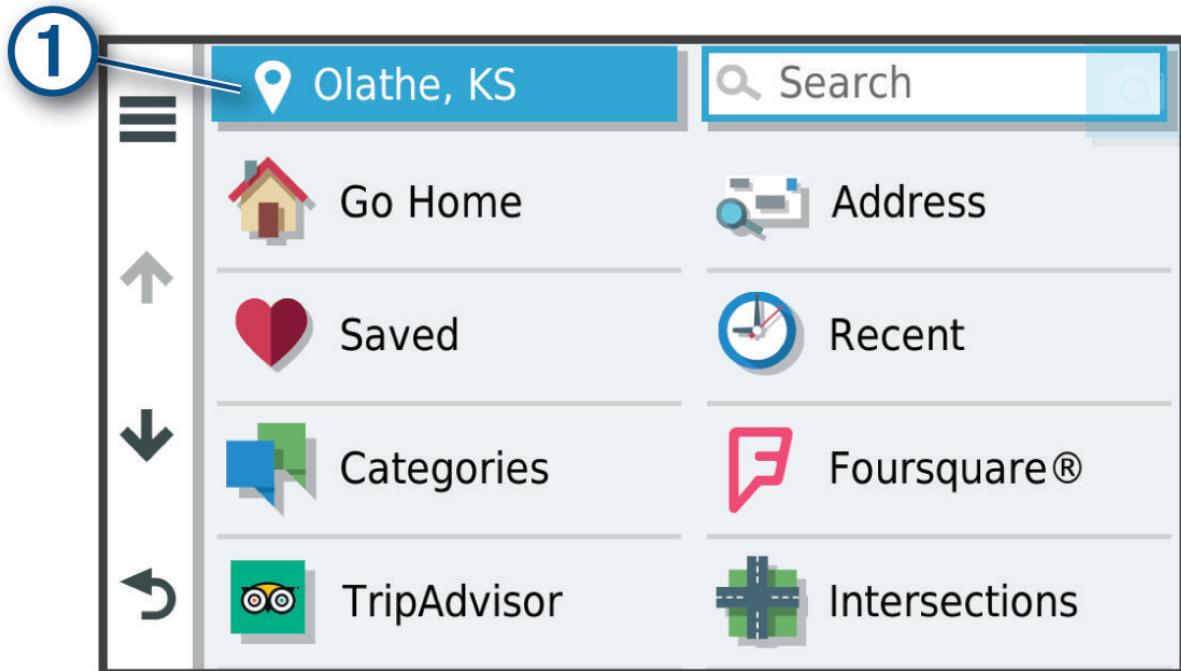


①	場所を選択してオプションメニューを表示します。
②	選択すると、場所に関する詳細情報が表示されます。
③	選択すると、場所への代替ルートが表示されます。
④	選択して、推奨ルートを使用して場所へのナビゲーションを開始します。

## 検索エリアを変更する

デフォルトでは、デバイスは現在地に近い場所を検索します。目的地の近く、別の都市の近く、アクティブルート沿いなど別のエリアの検索もできます。

- 1 目的地検索を選択します。
- 2 現在の検索エリアの横にある を選択します ①。



- 3 検索エリアを選択します。

- 4 必要に応じて、画面の指示に従って、特定の場所を選択します。

選択した検索エリアが の横に表示されます。目的地検索メニューのオプションを使用して場所を検索すると、そのエリアの近くにある場所が提案されます。

## カスタム POI ( ジャンル別施設 )

カスタム POI は、地図上のカスタマイズされたポイントのことです。カスタム POI には、指定した地点に近づいた場合や走行スピードが指定スピードを超えた場合などに通知するアラートを設定することができます。

### POI Loader をインストールする

コンピュータでカスタム POI リストを作成またはダウンロードし、POI Loader ソフトウェアを使用して、デバイスにインストールできます。

- 1 [www.garmin.com/poiloader](http://www.garmin.com/poiloader) を参照してください。
- 2 画面に表示される指示に従います。

### カスタム POI を検索する

カスタム POI を検索できるようにするには、POI Loader ソフトウェアを使用して、デバイスにカスタム POI をロードする必要があります ( [POI Loader をインストールする](#), 22 ページ )。

- 1 目的地検索 > カテゴリーの順に選択します。
- 2 [ その他のカテゴリー ] セクションにスクロールし、目的のカテゴリーを選択します。

## 駐車場

RV / Camper デバイスは詳細な駐車場データを含んでいます。これは、駐車場の利用可能性、駐車場のタイプ、料金、または認められている支払い方法に基づいて近くの駐車場を検索するのに役立ちます。

一部の地域では、RV / Camper デバイスが Garmin Drive アプリに接続されている間、ライブの路上駐車データが利用可能になります。デバイスがライブパーキングデータを受信中に、リアルタイムパーキングトレンドを表示できます。

**注：** 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。Garmin は、ライブパーキングデータの正確性または適時性について責任を負いません。

### 現在の場所近くの駐車場を検索する

- 1 目的地検索 > カテゴリー > 駐車場の順に選択します。
- 2 駐車場をフィルタリングを選択し、空き状況、タイプ、価格、または支払い方法の 1 つまたは複数のフィルタカテゴリーを選択します（オプション）  
**注：** 詳細なパーキングデータは、すべての地域およびすべての駐車場で利用できるわけではありません。
- 3 駐車場を選択します。
- 4 出発を選択します。

### 駐車場の色分けと記号について

詳細なパーキングデータがある駐車場所では、駐車スポットが見つかる可能性が色で表示されます。記号は駐車場のタイプ（路上またはパーキングロット）、関連する料金情報、および支払タイプを示します。

これらの色と記号の凡例はデバイスで表示できます。

パーキング検索の結果から、を選択します。

## 検索ツール

検索ツールでは、画面に表示される指示に従って、特定の位置を検索できます。

### 交差点を検索する

2 本のストリート、幹線道路、またはその他の道路の間にある交差点またはジャンクションを検索できます。

- 1 目的地検索 > 交差点の順に選択します。
- 2 画面に表示される指示に従い、ストリート情報を入力します。
- 3 交差点を選択します。

### 座標を使用して位置を検索する

緯度 / 経度を指定して、位置を検索できます。

- 1 目的地検索 > 座標の順に選択します。
- 2 必要に応じてを選択し、座標形式やデータを変更します。
- 3 緯度 / 経度を入力します。
- 4 地図に表示を選択します。

## Foursquare

Foursquare は、場所に基づくソーシャルネットワークです。お使いのデバイスには Foursquare の数百万のジャンル別施設が事前にダウンロードされており、場所検索の結果に Foursquare ロゴで示されます。

互換性のあるスマートフォンの Garmin Drive アプリを使用して、Foursquare アカウントに接続することができます。これにより、Foursquare 場所の詳細の表示、場所へのチェックイン、およびオンライン Foursquare データベースでジャンル別施設の検索が可能です。

## Foursquare アカウントに接続する

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります ([スマートフォンとペアリングする](#), 32 ページ)。

- 1 スマートフォンで、Garmin Drive アプリを開きます。
- 2  > Foursquare の順に選択します。
- 3 Foursquare ログイン情報を入力します。

## Foursquare のジャンル別施設を検索する

デバイスにロードした Foursquare のジャンル別施設を検索できます。 Garmin Drive アプリを使用して Foursquare アカウントに接続しているとき、検索では、Foursquare オンラインデータベースから最新の結果が得られ、Foursquare ユーザーアカウントからはカスタマイズされた結果が得られます ([Foursquare アカウントに接続する](#), 24 ページ)。

目的地検索 > Foursquare を選択します。

## Foursquare の場所の詳細を表示する

この機能を使用する前に、お使いのデバイスが Garmin Drive アプリを使用して Foursquare アカウントに接続されている必要があります ([Foursquare アカウントに接続する](#), 24 ページ)。

ユーザー評価、レストランの価格設定情報、営業時間など、Foursquare の場所に関する詳細情報を表示できます。

- 1 場所についての検索の結果から Foursquare のジャンル別施設を選択します。
- 2  を選択します。

## TripAdvisor

デバイスには TripAdvisor ジャンル別施設および評価が登録されています。 TripAdvisor 評価は、自動的に該当するジャンル別施設リストの検索結果に表示されます。近くの TripAdvisor ジャンル別施設を検索して、距離または人気度に基づき並べ替えることもできます。

## TripAdvisor ジャンル別施設 ( POI ) を検索する

- 1 目的地検索 > TripAdvisor を選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。  
そのカテゴリーに該当する、近くの TripAdvisor ジャンル別施設のリストが表示されます。
- 3 距離または人気度で検索結果を並べ替えるには、結果を並べ替えるを選択します ( オプション )。

## 最近検索した位置を表示する

デバイスには、過去に検索した場所の履歴が最新の 50 件保存されています。

目的地検索 > 最近表示した項目の順に選択します。

## 最近検索した場所のリストを消去する

目的地検索 > 最近表示した項目 >  > 消去 > はいの順に選択します。

## 現在地情報を表示する

[ 現在地の確認 ] ページを使用して、現在地に関する情報を表示できます。この機能は、緊急時に 110 番や 119 番で自分のいる場所を知らせる場合に便利です。

地図で、車両を選択します。

## 緊急時サービスとガソリンスタンドを検索する

[ 現在地の確認 ] ページを使用して、直近の病院、警察署、およびガソリンスタンドを検索できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 病院、警察署、ガソリンスタンド、または路上支援を選択します。

注：サービスカテゴリーの中には、すべてのエリアでは提供されていないものもあります。

選択したサービスの場所のリストが表示され、最寄りの場所が一番上に表示されます。

- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
  - ・ その場所までのナビゲーションが開始するには、出発を選択します。
  - ・ 電話番号や場所に関する他の詳細を表示するには、❶を選択します。

## 現在地への道順を表示する

自分が現在いる位置への道順を誰かに知らせる必要がある場合、道順のリストを表示できます。

- 1 地図で、車両を選択します。
- 2 ☰ > 現在地までの道順の順に選択します。
- 3 始点を選択します。
- 4 選択を選択します。

## ショートカットを追加する

[ 目的地検索 ] メニューにショートカットを追加できます。ショートカットから、位置、カテゴリー、または検索ツールを直接参照できます。

[ 目的地検索 ] メニューには 36 個までのショートカットアイコンを追加できます。

- 1 目的地検索 > ショートカットの追加の順に選択します。
- 2 アイテムを選択します。

## ショートカットを削除する

- 1 目的地検索 > ☰ > ショートカットの削除の順に選択します。
- 2 削除するショートカットを選択します。
- 3 確認のため再度ショートカットを選択します。
- 4 完了を選択します。

## 位置を保存する

### 位置を保存する

- 1 位置を検索します (カテゴリーを入力して位置を検索する, 20 ページ)。
- 2 検索結果から位置を選択します。
- 3 ❶ > 保存を選択します。
- 4 名前を入力し、完了を選択します。

### 現在地を保存する

- 1 地図で、車両アイコンを選択します。
- 2 保存を選択します。
- 3 名前を入力し、完了を選択します。
- 4 OKを選択します。

## 保存した位置を編集する

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 必要に応じて、カテゴリーを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 を選択します。
- 5 > 編集を選択します。
- 6 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 名前を選択します。
  - ・ 電話番号を選択します。
  - ・ カテゴリーを保存した位置に割り当てるには、カテゴリーを選択します。
  - ・ 地図上に保存した位置をマークするために使用する記号を変更するには、地図記号の変更を選択します。
- 7 情報を編集します。
- 8 完了を選択します。

## 保存した位置にカテゴリーを割り当てる

カスタムカテゴリーを使用して保存した位置を整理できます。

注：位置を12件以上保存すると、カテゴリーが[保存した位置]メニューに表示されます。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 位置を選択します。
- 3 を選択します。
- 4 > 編集 > カテゴリーの順に選択します。
- 5 1つ以上のカテゴリー名を、カンマ区切りで入力します。
- 6 必要に応じて、カテゴリーの候補を選択します。
- 7 完了を選択します。

## 保存した位置を削除する

注：削除された位置情報を復元することはできません。

- 1 目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- 2 > 保存した場所を削除の順に選択します。
- 3 削除する保存済み位置情報にチェックをして、削除を選択します。

## 地図を使用する

地図を使用してルートのナビゲーションを行うこと(地図上のルート, 12ページ)やアクティブなルートがないときに周囲の地図を表示することができます。

- 1 地図表示を選択します。
- 2 地図上の任意の場所を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 地図をドラッグして、上下左右に回転します。
  - ・ ズームインまたはズームアウトするには、またはを選択します。
  - ・ ノースアップ表示と3D表示を切り替えるには、を選択します。
  - ・ ルートを開始するには、地図上で位置を選択し、出発(地図を使用してナビゲーションを開始する, 12ページ)を選択します。

## 地図ツール

地図ツールを使用すると、地図を表示しながら情報やデバイスの機能にすばやくアクセスできます。地図ツールを有効化すると、地図の端にあるパネルに表示されます。

**停止:** アクティブルートのナビゲーションを停止します。

**ルートの編集:**迂回したり、ルートの場所をスキップしたりできます ([アクティブルートを変更する](#), 15 ページ)。

**音量:** サウンドと通知設定をカスタマイズできます ([サウンドと通知の設定](#), 50 ページ)。

**次の都市まで:** アクティブルートや高速道路沿いの、次の都市およびサービスを表示します ([次の都市まで](#), 28 ページ)。

**この先:** ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所を表示します ([この先](#), 27 ページ)。

**高度:** この先の高度変化を表示します。

**トラフィック:** ルート沿いまたはエリアの交通状況を表示します ([進行方向の交通事故を表示する](#), 30 ページ)。

この機能は、一部の地域やデバイスモデルでは利用できません。

**出張データ:** 速度や距離など、カスタマイズできるトリップデータを表示します ([地図からトリップデータを表示する](#), 30 ページ)。

**方向転換:** ルートのこの先の方向転換のリストを表示します ([方向転換と方向指示を表示する](#), 14 ページ)。

**スマートフォン:** 接続されている電話の最新の通話を表示し、通話中に通話中オプションを表示します ([通話中オプションを使用する](#), 34 ページ)。

**天気:** エリアの天気状況を表示します。

**カメラを通知:** スピードカメラや赤信号カメラを通知できます。このツールは、デバイスにスピードカメラデータや赤信号カメラデータがあり、Garmin Drive アプリへのアクティブな接続がある場合にのみ使用できます。

## 地図ツールを表示する

1 地図で : を選択します。

2 地図ツールを選択します。

地図ツールが地図の端にあるパネルに表示されます。

3 地図ツールを使い終わったら、X を選択します。

## この先

この先ツールは、ルートや走行中の道路沿いの、この先の場所についての情報を提供します。レストラン、ガソリンスタンド、サービスエリアなど、この先のジャンル別施設をカテゴリーごとに表示できます。

カテゴリーをこの先ツールに表示するようにカスタマイズできます。

## この先の場所を表示する

1 地図から : > この先を選択します。

走行中、3 つのカテゴリーそれぞれに、ルートまたは走行中の道路沿いの「次の場所」が地図ツールに表示されます。停車中は、3 つのカテゴリー名が地図ツールに表示されます。

2 次の中からオプションを選択します。

- 地図ツールに複数のカテゴリーが表示されている場合は、1 つのカテゴリーを選択すると、そのカテゴリーに関する周辺の場所が一覧で表示されます。
- 地図ツールに「この先の場所」が表示されている場合は、場所を選択すると、その場所の詳細情報やそこまでのルートが表示されます。

## [ この先 ] カテゴリーをカスタマイズする

この先ツールで表示する場所カテゴリーを変更できます。

1 地図から : > この先を選択します。

2 カテゴリーを選択します。

3 を選択します。

4 次の中からオプションを選択します。

- リスト内のカテゴリーを上下に移動するには、カテゴリー名の横にある矢印を選択してドラッグします。
- カテゴリーを変更するには、カテゴリーを選択します。
- カスタムカテゴリーを作成するには、カテゴリーを選択して、カスタム検索を選択し、ビジネスまたはカテゴリーの名前を入力します。

5 保存を選択します。

## 次の都市まで

高速道路または高速道路を含むルートの走行中に、この先の都市に関する情報が [ 次の都市まで ] ツールに表示されます。各都市の高速道路出口や出入口サービスまでの距離が、高速道路標識と同様に地図ツールに表示されます。

## この先の都市や出入口サービスの表示

1 地図で : > 次の都市までを選択します。

高速道路やアクティブルートの走行中に、この先の都市や出口に関する情報が地図ツールに表示されます。

2 都市を選択します。

デバイスに、選択した都市や出口にあるジャンル別施設（ガソリンスタンド、宿泊施設、レストランなど）が表示されます。

3 場所を選んで、出発を選択すると、ナビゲーションが開始されます。

## 警告およびアラート記号

### 警告

車両のプロファイル特性を入力しても、すべての推奨ルートでその特性が考慮されるわけではありません。また、警告アイコンが表示されない場合もあります。このデバイスではこのような制約や道路状況のすべてを把握できないため、地図データには限界があります。運転中は掲示されている道路標識と実際の道路状況を常に優先してください。

潜在的な危険や道路状況をお知らせするために、地図上またはルート案内に警告およびアラート記号が表示される場合があります。

## 制約に関する警告

	車高
	重量
	長さ
	幅
	トレーラーの高さ
	トレーラーの重量
	トレーラーの長さ
	トレーラーの幅
	ポートトレーラー禁止
	キャンパー禁止
	トレーラー禁止
	プロパン禁止
	左折禁止
	右折禁止
	Uターン禁止

## 道路状況に関する警告

	接地の危険あり
	つづら折れ
	道幅減少
	急カーブ
	急な下り坂
	樹木の張り出し

## アラート

	重量検査所
	モーターホームについては検証されていない道路

## トリップ情報

### 地図からトリップデータを表示する

地図から、⋮>出張データを選択します。

### トリップデータフィールドをカスタマイズする

- 1 地図から、⋮>出張データの順に選択します。
- 2 トリップデータフィールドを選択します。
- 3 オプションを選択します。

トリップデータ地図ツールに、新しいトリップデータフィールドが表示されます。

### 軌跡ログを表示する

デバイスでは、軌跡ログ（走行した経路の記録）を保持しています。

- 1 設定>地図および車両>地図レイヤーの順に選択します。
- 2 軌跡ログチェックボックスをオンにします。

### トリップ情報をリセットする

- 1 地図で、スピードを選択します。
- 2 トリップ情報のデータ項目を選択します。
- 3 ⌂>フィールドのリセットを選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
  - ・先頭ページのスピードメーター以外のデータフィールドをすべてリセットするには、ルートのナビゲーションをしていないときに、すべて選択を選択します。
  - ・全データのリセットを選択して、トリップAと合計データをリセットします。
  - ・最高速度をリセットするには、最高速度のリセットを選択します。
  - ・オドメーターをリセットするには、トリップBのリセットを選択します。

### 進行方向の交通事故を表示する

この機能を使用するには、デバイスでトラフィックデータ（トラフィック）、35ページ)を受信している必要があります。

現在のルートや走行中の道路の進行方向にある交通事故を表示できます。

- 1 ナビゲーションの実行中に、⋮>トラフィックを選択します。
- 2 地図の右側にあるパネルに、進行方向で発生している交通事故のうち、最も近くにあるものが表示されます。

### 地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、☰>ナビゲーション>トラフィックを選択します。
- 2 必要に応じて、⌂>凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

## 交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > ナビゲーション > トラフィックを選択します。
- 2  > 事故の順に選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

## 地図をカスタマイズする

### 地図レイヤーをカスタマイズする

ジャンル別施設を表すアイコンや道路状況など、地図上に表示するデータをカスタマイズできます。

- 1 設定 > 地図および車両 > 地図レイヤーの順に選択します。
- 2 地図に表示したいレイヤーを選択し、OK を選択します。

### 地図データフィールドを変更する

- 1 地図からデータフィールドを選択します。  
注：スピードはカスタマイズできません。
- 2 表示するデータの種類を選択します。

### 地図表示方法を変更する

- 1 設定 > 地図および車両 > 運転地図表示の順に選択します。
- 2 次の中からオプションを選択します。
  - ・ トラフィック を選択すると地図が 2D 表示され、進行方向が常に上になるように表示されます。
  - ・ ノースアップを選択すると地図が 2D 表示され、北が常に上になるように表示されます。
  - ・ 3D を選択すると地図が 3D 表示されます。

## ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能

Garmin Drive アプリを使用すると、デバイスで、スマート通知、およびライブトラフィックデータや天気情報などのライブ情報を受信することができます。

**ライブトラフィックデータ:** 交通事故や遅延、工事ゾーン、道路閉鎖などのリアルタイムトラフィックデータをデバイスに送信します（[ **トラフィック** ]、35 ページ）。

**天気情報:** リアルタイムで天気予報、道路状況、天気レーダーをお使いのデバイスに送信します（[天気予報を表示する](#)、44 ページ）。

**スマート通知:** スマートフォンの通知とメッセージをデバイスに表示します。この機能を利用できない言語もあります。

**ハンズフリー通話:** デバイスを使用して電話をかけたり受けたりできるほか、デバイスをハンズフリースピーカーフォンとして使用できます。

**位置情報をデバイスに送信:** スマートフォンから位置情報をナビゲーションデバイスに送信できます。

**Foursquare チェックイン:** ナビゲーションデバイスを使用して、Foursquare の場所にチェックインできます。

## スマートフォンとペアリングする

RV / Camper デバイスをスマートフォンおよび Garmin Drive アプリとペアリングし、追加の機能を有効にし、ライブ情報にアクセスすることができます（[ライブサービス、トラフィック、およびスマートフォン機能](#)、31 ページ）。

- 1 スマートフォンのアーリストアから、Garmin Drive アプリをインストールします。
- 2 RV / Camper デバイスをオンにし、デバイスとスマートフォンの距離が 3 m ( 10 ft. ) 以内になるようにします。
- 3 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。
- 4 画面の指示に従って Garmin アカウントにサインインし、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。

メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

## デバイスをペアリングした後のヒント

- ・ 初回のペアリング後、電源をオンにするたびに、2 つのデバイスは自動的に接続されます。
- ・ 電源をオンにすると、デバイスは最後に接続した電話に接続を試みます。
- ・ また、デバイスをオンにしたとき、デバイスと自動的に接続するように、電話での設定が必要な場合があります。
- ・ 使用する Bluetooth 機能が有効になっていることを確認します（[Bluetooth 機能を有効または無効にする](#)、34 ページ）。

## 追加 Bluetooth デバイスのペアリング

- 1 ヘッドセットまたは電話と Bluetooth デバイスの距離は 10 m ( 33 ft. ) 以内になるようにします。
- 2 デバイス側で Bluetooth 無線機能を有効にします。
- 3 ヘッドセットまたは電話で、Bluetooth 無線機能を有効にして、他の Bluetooth デバイスに表示されるようにします。
- 4 デバイスで、**設定 > ワイヤレスネットワーク > Bluetooth** の順に選択します。  
周辺にある Bluetooth デバイスのリストが表示されます。
- 5 リストからヘッドセットまたは電話を選択します。
- 6 必要に応じて、ペアリングを選択します。

## Garmin Drive アプリを使用して住所または場所に移動する

Garmin Drive アプリを使用して、住所、企業、または興味のある場所を検索し、ナビゲーション用に RV / Camper デバイスに送信できます。

- 1 Garmin Drive アプリから目的地検索を選択します。
  - 2 次の中からオプションを選択します。
    - ・ 現在地の住所を検索するには、番地またはストリート名を入力します。
    - ・ 別の都市の住所を検索するには、州名、都市名、ストリート名および番地を入力します。
    - ・ 店名を検索するには、名前の一部またはすべてを入力します。
    - ・ 都市を検索するには、州名および都市名を入力します。入力すると、候補が検索フィールドの下に表示されます。
  - 3 検索結果の候補から選択します。  
アプリで、地図上に場所が表示されます。
  - 4 ナビゲーションを開始するには、出発を選択します。
- RV / Camper デバイスが選択した場所へのナビゲーションを開始し、その場所が、目的地検索メニューの最近の検索に追加されます。

## スマート通知

デバイスが Garmin Drive アプリに接続されているときは、RV / Camper デバイスのスマートフォンから、テキストメッセージ、着信、カレンダーの予定のような通知を表示できます。

### 通知を受信する

#### ⚠️ 警告

運転中は通知を読んだり返信したりしないでください。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。

この機能を使用する前に、Garmin Drive アプリが実行されている、サポート対象スマートフォンにデバイスを接続しておく必要があります。

デバイスがスマートフォンから通知を受信すると、ほとんどのページからポップアップが表示されます。デバイスが移動中の場合、通知を表示するには、自分が乗客であり、運転者ではないことを確認する必要があります。

注：地図を表示している場合、通知は地図ツールに表示されます。

- 通知を無視するには、OK を選択します。  
ポップアップが閉じますが、通知は電話でアクティブのままでです。
  - 通知を表示するには、表示を選択します。
  - 通知を聞くには、表示 > 再生の順に選択します。  
デバイスは TTS ( Text-to-Speech ) 技術を利用して通知を読み上げます。この機能を利用できない言語もあります。
  - 電話からその通知を却下するなど追加アクションを実行するには、表示を選択してからオプションを選択します。
- 注：追加アクションは、一部の通知タイプでのみ利用でき、通知を生成したアプリでサポートされている必要があります。

## ハンズフリー通話

注：ほとんどのスマートフォンとヘッドセットはサポートされていて使用できますが、特定のスマートフォンまたはヘッドセットの互換性は保証されていません。お使いの携帯電話では、一部の機能が利用できない場合があります。

Bluetooth 無線技術を使用すると、デバイスを互換性のあるスマートフォンとワイヤレスヘッドセットまたはヘルメットに接続し、ハンズフリーデバイスとして使用することができます。互換性を確認するには、[www.garmin.com/bluetooth](http://www.garmin.com/bluetooth) にアクセスしてください。

### 電話をかける

- > ツール > 電話の順に選択します。
- 次の中からオプションを選択します。
  - 番号をダイヤルするには、□□□を選択し、電話番号を入力して、📞を選択します。
  - 最近ダイヤルした番号、不在着信した番号、最近ダイヤルした通話、着信した通話を表示するには、⌚を選択し、ログを選択して、ダイヤルする番号を選択します。
  - 電話帳にある連絡先に電話をかけるには、☎を選択し、次に連絡先を選択します。

### 電話を受ける

電話がかかってきたときには、回答または却下を選択します。

## 通話中オプションを使用する

通話中オプションは、電話に出ると表示されます。一部のオプションはお使いの電話に対応していない可能性があります。

ヒント：通話中オプションページを閉じた場合は、メインメニューから  を選択してもう一度開くことができます。

- 電話会議を設定するには、発信者 ID を選択し  を選択します。

- 音声の出力先を切り替えるには、 を選択します。

ヒント：この機能は、Bluetooth の接続を解除して通話を継続する場合やスピーカーでなく電話で話したい場合に使用します。

- ダイヤルパッドを使用するには、発信者 ID を選択し  を選択します。

ヒント：この機能を使用して、留守番電話などの自動システムを使用できます。

- マイクをミュートするには、 を選択します。

- 電話を切るには、 を選択します。

## 電話番号をプリセットとして保存する

連絡先を 3 つまでプリセットとしてダイヤルパッドに保存できます。これにより、自宅の電話番号、家族、または頻繁に連絡する連絡先にすばやく電話をかけることができます。

1  > ツール > 電話の順に選択します。

2 必要に応じて、 を選択します。

3 プリセット 1 などのプリセット番号を選択します。

4 OK を選択してから、連絡先を選択します。

## ワイヤレスヘッドセット

デバイスは、音声ナビゲーションプロンプトを Bluetooth 対応ワイヤレスヘッドセットに送信できます。

## Bluetooth 機能を有効または無効にする

ペアリングされたスマートフォンのハンズフリー通話および Garmin Drive 機能を有効または無効にすることができます。

1 設定 > ワイヤレスネットワーク > Bluetooth の順に選択します。

2 スマートフォン名の横にある  を選択します。

3 使用目的セクションで、オプションを選択します。

- Garmin Drive アプリへの接続を有効にするには、Garmin Drive を選択します。
- ハンズフリー通話機能を有効にするには、ハンズフリーを選択します。

4 OK を選択します。

## アプリの通知を表示または非表示にする (Android™)

Garmin Drive アプリを使用して、RV / Camper デバイスに表示するスマートフォン通知の種類をカスタマイズできます。

1 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。

2  > スマート通知の順に選択します。

スマートフォンアプリのカテゴリーのリストが表示されます。

3 カテゴリーを選択して、そのタイプのアプリの通知を有効または無効にします。

## Apple® デバイスの通知カテゴリーを表示または非表示にする

Apple デバイスに接続されている場合は、カテゴリーを表示または非表示にして、RV / Camper デバイスに表示される通知をフィルタリングできます。

1  > ツール > スマート通知 >  の順に選択します。

2 表示する各通知の横にあるチェックボックスをオンにします。

## Bluetooth デバイスの取り外し

ペアリングされているデバイスのリストから削除しないで、Bluetooth デバイスを一時的に取り外すことができます。Bluetooth デバイスは、今後も RV / Camper デバイスに自動的に接続できます。

- 1 設定 > ワイヤレスネットワーク > Bluetooth の順に選択します。
- 2 接続を解除するデバイスを選択します。
- 3 OK を選択します。

## ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する

ペアリングした Bluetooth デバイスを削除して、今後自動的に RV / Camper デバイスに接続できないようにすることができます。ペアリングしたスマートフォンを削除した場合も、すべての同期された電話帳の連絡先および通話履歴が RV / Camper デバイスから削除されます。

- 1 設定 > ワイヤレスネットワーク > Bluetooth の順に選択します。
- 2 Bluetooth デバイス名の横にある  > 破棄を選択します。

## [ ト ラ フ ィ ッ ク ]

### 注記

Garmin は交通情報の正確性または適時性について責任を負いません。

お使いのデバイスは、この先の道路やルート上の渋滞に関する情報を提供できます。アクティブルートで大きな交通遅延状態が発生した場合は、ルートの計算時に渋滞を回避して、目的地への新しいルートを発見するようデバイスを設定できます ([ト ラ フ ィ ッ ク 設 定, 49 ページ](#))。交通渋滞地図を使用すると、地域の交通遅延の地図を参照できます。

交通情報を提供するには、デバイスがト ラ フ ィ ッ クデータを受信している必要があります。

- すべての製品モデルで、Garmin Drive アプリを使用してト ラ フ ィ ッ クデータを受信できます（サブスクリプション無料）（[スマートフォンを使用してト ラ フ ィ ッ クデータを受信する, 35 ページ](#)）。
- すべての製品モデルは、無線ト ラ フ ィ ッ クレシーバーアクセサリを使用して、ト ラ フ ィ ッ クデータを受信できます（[ト ラ フ ィ ッ クレシーバーを使用してト ラ フ ィ ッ クデータを受信する, 36 ページ](#)）。garmin.com の製品ページにアクセスして、互換性のあるト ラ フ ィ ッ クレシーバーアクセサリを検索してご購入いただけます。

ト ラ フ ィ ッ クデータを利用できない地域もあります。ト ラ フ ィ ッ ク情報を利用できる地域については、[garmin.com/traffic](#) を参照してください。

## スマートフォンを使用してト ラ フ ィ ッ クデータを受信する

デバイスは、Garmin Drive アプリを実行しているスマートフォンに接続されているときに、サブスクリプション無料のト ラ フ ィ ッ クデータを受信できます。

- 1 デバイスを Garmin Drive アプリに接続します。
- 2 RV / Camper デバイスで、設定 > ト ラ フ ィ ッ ク > ト ラ フ ィ ッ クの順に選択し、Garmin ライブト ラ フ ィ ッ クオプションが選択されていることを確認します。

# トラフィックレシーバーを使用してトラフィックデータを受信する

## 注記

ヒーター付き（熱線付き）フロントガラスは、交通情報受信機の性能を低下させることができます。

トラフィックレシーバーは、利用可能な場合、無線ブロードキャスト信号からトラフィックデータを受信します。無線トラフィックデータを受信するには、トラフィックに対応する電動マウントを使用して、デバイスを車両の電源に接続する必要があります。トラフィックレシーバーは、一部の製品モデル（[\[トラフィック\]](#), 35ページ）に付属しています。お使いの製品モデルにトラフィックレシーバーが付属していない場合には、[garmin.com](#) の製品ページにアクセスして、互換性のあるトラフィックレシーバーアクセサリを検索してご購入いただけます。

トラフィックデータを利用できない地域もあります。トラフィック情報を利用できる地域については、[garmin.com/traffic](#) を参照してください。

- 1 トラフィック互換の電動マウントを使用して、デバイスを車両の電源に接続します（[車両へのデバイスの取り付けと電源の供給](#), 2 ページ）。  
お使いの製品モデルにトラフィックデータが含まれている場合、デバイス付属の電動マウントはトラフィックに対応しています。トラフィックレシーバーをアクセサリとして購入した場合、アクセサリを使用してデバイスを車両の電源に接続してください。
- 2 設定 > トラフィック > トラフィックの順に選択し、トラフィックアクセサリのオプションが選択されていることを確認します。

## 地図上に交通渋滞情報を表示する

交通渋滞地図は、道路状況が色分けされて表示されます。

- 1 メインメニューで、 > ナビゲーション > トラフィックを選択します。
- 2 必要に応じて、 > 凡例を選択し、交通渋滞地図の凡例を表示します。

## 交通事故情報を検索する

- 1 メインメニューで、 > ナビゲーション > トラフィックを選択します。
- 2  > 事故の順に選択します。
- 3 リストからアイテムを選択します。
- 4 事故が複数地点で発生しているときに別の事故を表示するには、矢印を使用します。

## 音声コマンド

注：すべての言語や地域で音声コマンドが使用できるわけではありません。また、音声コマンドを利用できないモデルもあります。

注：周囲の音が大きい場合、音声認識ナビが望ましい性能を発揮できない可能性があります。

音声コマンドを使って、単語やコマンドを読み上げてデバイスを使用することができます。[ 音声コマンド ] メニューには、音声プロンプトや利用可能なコマンドのリストが表示されます。

## デバイスに話しかける際のヒント

- ・ デバイスで指定されるはつきりした音声で発音します。
- ・ OK、Garmin で各リクエストを開始します。
- ・ 音声やラジオなどの背景雑音を軽減して、デバイスがコマンドをより正確に解釈できるようにします。
- ・ 必要に応じて、デバイスからの音声案内に応答します。
- ・ 有益な応答が得られない場合は、リクエストを言い換えてみてください。
- ・ デバイスが要求に応答しない場合は、デバイスがスピーカーや通気口の近くに置かれていないかを確認してください。そのような場合、ノイズが発生してマイクに干渉していることがあります。

## Garmin 音声案内ナビゲーションの起動

Garmin 音声案内ナビゲーションを使用すると、わかりやすい言語の音声要求を使用して、場所や住所を検索したり、針路方向を詳細に指示したり、ハンズフリー通話を発信したりできます。

- OK, Garmin と話しかけ、音声で要求します。  
たとえば、次のようなフレーズを言うことができます。
  - OK, Garmin, take me home.
  - OK, Garmin, where's the library?

## 到着時刻の確認

ルートがアクティブな間に、フレーズを発音すると目的地への到着予定時刻を確認できます。

OK, Garmin, what time will we arrive?と話しかけます。

## 音声を使用して電話をかける

音声コマンドを使用して、ペアリングしたスマートフォンの電話帳から連絡先に電話をかけることができます。

OK, Garmin, call と話しかけて、連絡先名を言ってください。

例えば、OK, Garmin, call Mom.と言います。

## 音声を使用してデバイス設定を変更

次のようなフレーズを発音して、音量を 0~10 の値に設定できます。

- OK, Garmin, increase the volume.
- OK, Garmin, set the volume to 0.
- OK, Garmin, set the volume to 9.

## アプリケーションを使用する

### デバイスのマニュアルの表示

デバイス画面では、多くの言語の完全なマニュアルを表示できます。

1  > ツール > 操作マニュアルの順に選択します。

マニュアルは、ソフトウェアテキスト (テキスト言語を設定する, 50 ページ)と同じ言語で表示されます。

2 Q を選択して、マニュアル (オプション) を検索します。

### トリッププランナー

トリッププランナーを使用し、トリップを作成して保存し、あとで操作することができます。配達ルート、休暇、またはドライブの計画に便利です。保存したトリップを編集して、場所の並べ替え、経由地の順序の最適化、アトラクションの提案の追加、およびシェイピングポイントの追加など、さらにカスタマイズできます。

トリッププランナーを使用して、アクティブルートを編集し保存することもできます。

## トリップを計画する

1回のトリップに多数の目的地を含めることができます、少なくとも出発地と1つの目的地は含める必要があります。出発地は、トリップの開始を計画している場所です。トリップのナビゲーションを別の場所から開始する場合、デバイスで最初に出発地に向かうオプションを選択できます。往復する場合は、出発地と最終目的地同じにすることができます。

- 1  > ナビゲーション > ルート > 新しいトリップの順に選択します。
- 2 出発地の選択を選択します。
- 3 始点を指定し、選択を選択します。
- 4 目的地の選択を選択します。
- 5 目的地の場所を指定し、選択を選択します。
- 6 場所の追加を選択して、その他の場所を追加します（オプション）。
- 7 必要な場所をすべて追加したら、次へ > 保存の順に選択します。
- 8 名前を入力し、完了を選択します。

## トリップの場所を編集および並べ替える

- 1  > ナビゲーション > ルート > 保存されたトリップの順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 位置を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
  - ・ 場所を上下に移動するには、 を選択し、場所をトリップの新しい位置にドラッグします。
  - ・ 選択した場所の後に新しい場所を追加するには、 を選択します。
  - ・ 場所を削除するには、 を選択します。

## トリップの目的地の順序を最適化する

デバイスは、トリップの目的地の順序を自動的に最適化して、距離が短く、効率的なルートを作成します。順序を変更しても出発地と最終目的地は変更されません。

トリップを編集するときは、 > 順序の最適化を選択します。

## トリップの経路にあるアトラクションの発見

トリップに追加できる興味深いアトラクションや人気のアトラクションが提案されます。

- 1 トリップの編集中に、 > アトラクションの提案を選択します。
- 2 アトラクションを選択すると、詳細情報が表示されます。
- 3 選択を選択してアトラクションをトリップに追加します。

## トリップのルート探索オプションを変更する

トリップを開始するとき、デバイスがルートを計算する方法をカスタマイズできます。

- 1  > ナビゲーション > ルート > 保存されたトリップの順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3  を選択します。
- 4 次の中からオプションを選択します。
  - ・ トリップにシェイピングポイントを追加するには、ルートを形成するを選択し、画面に表示される指示に従います（[ルートを形成する](#), 15 ページ）。
  - ・ トリップの計算モードを変更するには、ルート探索方法を選択します（[ルート探索方法を変更する](#), 16 ページ）。

## 保存されているトリップをナビゲーションする

- 1  > ナビゲーション > ルート > 保存されたトリップの順に選択します。
- 2 保存されているトリップを選択します。
- 3 出発を選択します。
- 4 ナビゲーション先の最初の位置を選択し、開始を選択します。  
デバイスは、現在地から選択した位置へのルートを計算し、残りのトリップ目的地に順番に案内します。

## アクティブルートを編集および保存する

ルートがアクティブな場合、トリッププランナーを使用し、トリップとしてルートを編集および保存できます。

- 1  > ナビゲーション > ルート > 保存されたトリップ > マイアカウントの順に選択します。
- 2 いずれかのトリッププランナー機能を使用して、ルートを編集します。  
ルートは変更を加えるごとに再計算されます。
- 3 トリップとしてルートを保存するには、保存を選択します。ナビゲーションは後で再開できます（オプション）。

## TracBack<sup>®</sup>

### 最近のトラックを辿る

TracBack 機能は、移動の最近のセグメントを記録します。最近のトラックを利用して、以前の場所まで戻ることができます。

- 1  > ナビゲーション > TracBack の順に選択します。  
地図上に最近のトラックが表示されます。
- 2 出発を選択します。

### 最近のトラックをトリップとして保存する

最近のトラックをトリップとして保存し、あとでトリッププランナーを使用して操作することができます。（[保存されているトリップをナビゲーションする](#), 39 ページ）

- 1 TracBack を選択します。  
地図上に最近のトラックが表示されます。
- 2  > トリップとして保存の順に選択します。
- 3 名前を入力し、完了を選択します。

## Fusion-Link<sup>™</sup>ワイヤレスリモートコントロールアプリ

RV / Camper デバイスの Fusion-Link リモコンアプリを使用して、互換性のある Fusion<sup>®</sup>ステレオを制御できます。音量の調整、ソースの変更、再生の制御、ラジオプリセットの選択と管理、ステレオ設定の調整、およびステレオでの DSP プロファイルの設定を行うことができます。

このアプリは、RV / Camper デバイスへのワイヤレス接続を使用してステレオと通信します。アプリを使用するには、Bluetooth テクノロジーを使用してデバイスをステレオに接続する必要があります。

ステレオを Wi-Fi ネットワークに接続すると、アプリはそのネットワークを使用してステレオと通信できるようになります。このネットワークは、Bluetooth 接続よりも広い範囲を提供します。

### Bluetooth を使用してステレオに接続する

- 1 互換性のある Fusion ステレオで Bluetooth 検出可能モードを有効にします。
- 2 RV / Camper デバイスの電源を入れ、ステレオから 10 m 以内（33 ft.）に配置します。
- 3 RV / Camper デバイスで、設定 > ワイヤレスネットワーク > Bluetooth の順に選択します。
- 4 利用可能なデバイスのリストから Fusion ステレオを選択します。

## ワイヤレスネットワークを使用したステレオへの接続

RV / Camper デバイスは、同じワイヤレスネットワークに接続されている互換性のある Fusion ステレオに接続できます。

1 次の中からオプションを選択します。

- Fusion ステレオを車両のイーサネットまたはワイヤレスネットワークに接続します。
- Fusion ステレオにワイヤレスネットワークが内蔵されている場合は、ステレオ設定でワイヤレスネットワークを有効にします。

2 RV / Camper デバイスで、**設定 > ワイヤレスネットワーク > Wi-Fi** の順に選択します。

3 ステレオが接続されているのと同じワイヤレスネットワークを選択します。

4 必要に応じて、パスワードを入力します。

## 音楽の再生

### 音楽を再生する

1  > ツール > **Fusion Link** の順に選択します。

2 リストからステレオを選択します。

3 必要に応じて、曲または放送局を選択します。

### ソースを選択する

1 ソースアイコンを選択します。

ソースアイコンはステレオ画面の左上隅にあり、現在選択されているソースを示します。

2 ソースを選択します。

### 再生コントロール

画面上の再生コントロールは、選択したソースによって異なる場合があります。

	選択すると、メディアの再生を一時停止します。
	選択すると、メディアを再生するか、メディアの再生を再開します。
	<ul style="list-style-type: none"><li>選択すると前のトラックにスキップします（該当するソースを使用している場合）。</li><li>長押しするとトラックが巻き戻されます（該当するソースを使用している場合）。</li><li>AM または FM ソース：<ul style="list-style-type: none"><li>選択すると、前回の局やプリセットにチューニングされます。</li><li>長押しすると、チューニングが速くなります（手動モードのみ）。</li></ul></li></ul>
	<ul style="list-style-type: none"><li>選択すると次のトラックにスキップします（該当するソースを使用している場合）。</li><li>押し続けると、トラックが早送りされます（該当するソースを使用している場合）。</li><li>AM または FM ソース：<ul style="list-style-type: none"><li>選択すると、次の局またはプリセットにチューニングされます。</li><li>長押しすると、チューニングが速くなります（手動モードのみ）。</li></ul></li></ul>
	選択すると、チューニングモード（自動または手動）とプリセットが切り替わります。 長押しすると、現在の局がプリセットとして保存されます。
	現在のゾーンの音量を上げる場合に選択します。
	現在のゾーンの音量を下げる場合に選択します。
感度	補助入力ソースでスライダを動かすと、ゲインが増減します。

## オーディオコントロール

### ゾーンの音量の調整

- 1 > ツール > Fusion Link > の順に選択します。
- 2 スライダーを動かして、ゾーンの音量を調節します。

### 接続したすべてのステレオをミュートする

このステレオまたはネットワークに接続されているすべてのステレオの音声をすばやくミュートできます。

いずれかのソースで、を選択します。

ミュート記号が表示され、このステレオの音声が消えます。

### トーンを調整する

- 1 > ツール > Fusion Link > > ミュージックの順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 トーンを選択します。
- 4 スライダーバーを動かして、各トーンのレベルを調整します。

### ゾーンの大音量設定を無効にする

大きい設定は、音量が小さいときの周波数応答が維持され、音量が大きいときの知覚音量が大きくなります。この設定は、すべてのゾーンでデフォルトで有効になっています。

- 1 > ツール > Fusion Link > > ミュージックの順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 大きいを選択して、設定を有効または無効にできます。

### 補助デバイスのゲインを調整する

接続した補助デバイスのゲインを調整して、他のメディアソースと同様の音量レベルにすることができます。ゲインは 1 dB 単位で調整できます。

- 1 補助ソースを選択します。
- 2 スライダを動かして、ゲインを増減します。

注：ポータブルメディアプレーヤーをヘッドフォン出力で使用するときに最高の音質を得るには、ゲインを調整するのではなく、メディアプレーヤーの音量を調節することをお勧めします。

### スピーカーゾーン

1 つのエリアのスピーカーをグループ化して、スピーカーゾーンにすることができます。これにより、ゾーンの音声レベルを個別に制御できます。たとえば、キャビン内のオーディオの音量を下げ、デッキの音量を上げることができます。

バランス、音量制限、トーン、サブウーファーレベル、サブウーファー周波数、および各ゾーンの名前、その他のゾーン固有の設定を設定できます ([スピーカーゾーンの設定](#), 43 ページ)。

### ゾーンのオーディオ設定を調整する

- 1 > ツール > Fusion Link > > ミュージックの順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 詳細を選択します。
- 4 オプションを選択します（複数可）。

注：一部のゾーンで、使用できないオプションがある場合があります。

- ・ このゾーンの最大ボリュームレベルを制限するには、ボリューム制限を選択してレベルを調整します。
- ・ このゾーンのサブウーファーレベルを設定するには、サブレベルを選択してレベルを調整します。
- ・ このゾーンの左右のスピーカーバランスを調整するには、バランスを選択してバランスを調整します。

## サブウーファーフィルタを調整する

サブウーファーフィルタ設定を使用して、各ゾーンのサブウーファーのカットオフ周波数を制御できます。これにより、スピーカーとサブウーファーによって作り出されるサウンドの融合を増進できます。選択したカットオフ周波数を超える音声信号は、サブウーファーには送信されません。

注：DSP 設定がゾーンに適用されている場合、この設定をステレオで変更することはできません。DSP コントローラによって計算された最適なカットオフ周波数の DSP 設定を表示できますが、調整することはできません。

1  > ツール > Fusion Link >  > ミュージックの順に選択します。

2 ゾーンを選択します。

3 サブウーファーフィルタを選択します。

4 周波数を選択します。

## DSP 設定

一部の Fusion ステレオには、デジタル信号処理 ( DSP ) が搭載されています。Fusion スピーカーとアンプにあらかじめ設定された DSP 設定を選択して、音質を最適化できます。

すべての DSP 設定は Fusion-Link リモートコントロールアプリで設定できます。

注：この機能を利用できないステレオモデルもあります。

## DSP 設定を構成する

DSP 設定を構成して、Fusion スピーカーとアンプを使用する各ゾーンのサウンドを最適化できます。

1  > ツール > Fusion Link >  > ミュージックの順に選択します。

2 ゾーンを選択します。

3 DSP 設定を選択します。

4 ゾーンに接続されている Fusion スピーカーおよびアンプのモデルに応じて、DSP 設定を必要に応じて構成します。

5 これらの手順をゾーンごとに繰り返します。

6 すべてのゾーンの DSP 設定の構成が完了したら、DSP 設定の送信を選択します。

## プリセット

お気に入りの AM 放送局および FM 放送局をプリセットとして保存して、簡単にアクセスできるようにすることができます。

### 放送局をプリセットとして保存する

1 該当するソースを選択した状態で、ステレオを放送局またはチャンネルにチューニングします。

2  を長押しします。

### プリセットをリストから選択する

1 該当するソースを選択した状態で、★を選択します。

2 プリセットを選択します。

### プリセットを削除する

1 該当するソースを選択した状態で、★を選択します。

2  を選択します。

3 削除する各プリセットを選択します。

4 プリセットの削除が完了したら、 を選択します。

## オーディオ設定

●> ツール > Fusion Link > ⚙ の順に選択します。

ミュージック: スピーカーゾーンを構成できます ([スピーカーゾーンの設定, 43 ページ](#))。

チューナーの地域: さまざまなラジオのソースで使用する地域を設定します。

デバイス名: このステレオの名前を設定します。

検索中: Fusion Alpha Search Technology ( FAST ) を有効にします。トラックを文字または数字ですばやく検索できるようになります。FAST メニューを有効にするために必要な、最小トラック数を設定できます。FAST 検索は、この数を超えるトラックがデバイスに含まれている場合に使用できます。

更新: ステレオおよび SP 設定ソフトウェアを更新できます。

バージョン情報: ステレオのソフトウェアバージョン情報を表示します。

### スピーカーゾーンの設定

#### ゾーン名を設定する

スピーカーゾーンに名前を設定して、見分けやすくすることができます。

- 1 ●> ツール > Fusion Link > ⚙ > ミュージックの順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 ゾーン名を選択します。
- 4 オンスクリーンキーボードを使用して名前を入力し、OK を選択します。

#### ゾーンをリンクする

ゾーン 1 と 2 をリンクして、音量レベルを同期したままにすることができます。リンクしたゾーンのどちらかの音量を調整すると、両方のゾーンの音量に影響が及びます。

●> ツール > Fusion Link > ⚙ > ミュージック > ゾーン 2 > ゾーン 1 ヘリンクの順に選択します。

注: ゾーン 1 と 2 をリンクした後は、各ゾーンの音量を別々に調整することはできません。

#### ゾーンを無効にする

未使用的ゾーンを無効にして、オーディオレベルのページから削除できます。ゾーンが無効になっていると、そのゾーンの設定を変更することはできません。ゾーン 3 および 4 のみを無効にできます。

- 1 ●> ツール > Fusion Link > ⚙ > ミュージックの順に選択します。
- 2 ゾーンを選択します。
- 3 有効なゾーンを選択します。

#### 内蔵アンプを無効にする

スピーカーを直接ゾーン 1 とゾーン 2 に接続しない場合は、内蔵アンプを無効にすると消費電力を削減できます。

- 1 ●> ツール > Fusion Link > ⚙ > 一般の順に選択します。
- 2 内蔵アンプを選択します。

### サービス履歴をログに記録する

車両がサービスまたは保守を受けるときに、日付およびオドメーターの測定値をログに記録することができます。デバイスにはサービスカテゴリーがいくつか用意されています。また、カスタムカテゴリーを追加することもできます ([「サービスカテゴリーを追加する, 44 ページ」](#))。

- 1 ●> ツール > サービス履歴の順に選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。
- 3 レコードの追加を選択します。
- 4 オドメーターの測定値を入力し、次へを選択します。
- 5 コメントを入力します (省略可)。
- 6 完了を選択します。

## サービスカテゴリーを追加する

- 1  > ツール > サービス履歴の順に選択します。
- 2  > カテゴリーの追加の順に選択します。
- 3 カテゴリーネームを入力してから、完了を選択します。

## サービスカテゴリーを削除する

サービスカテゴリーを削除すると、そのカテゴリーに含まれるサービスの記録もすべて削除されます。

- 1  > ツール > サービス履歴の順に選択します。
- 2  > カテゴリーの削除の順に選択します。
- 3 削除するサービスカテゴリーを選択します。
- 4 削除を選択します。

## サービスカテゴリーの名前を変更する

- 1  > ツール > サービス履歴の順に選択します。
- 2 名前を変更するカテゴリーを選択します。
- 3  > カテゴリーの名前変更の順に選択します。
- 4 名前を入力し、完了を選択します。

## サービスの記録を編集する

コメント、オドメーターの測定値、およびサービスの記録日を編集できます。

- 1  > ツール > サービス履歴の順に選択します。
- 2 カテゴリーを選択します。
- 3 フィールドを選択します。
- 4 新しい情報を入力して、完了を選択します。

## サービスの記録を削除する

- 1  > ツール > サービス履歴の順に選択します。
- 2 サービスカテゴリーを選択します。
- 3  > レコードの削除の順に選択します。
- 4 削除するサービスの記録を選択します。
- 5 削除を選択します。

## 前のルートと目的地を表示する

この機能を使用する前に、走行履歴機能を有効にする必要があります ([デバイス設定](#), 51 ページ)。

前のルートと停止した場所を地図上に表示することができます。

- 1  > ナビゲーション > 走行履歴の順に選択します。

## 天気予報を表示する

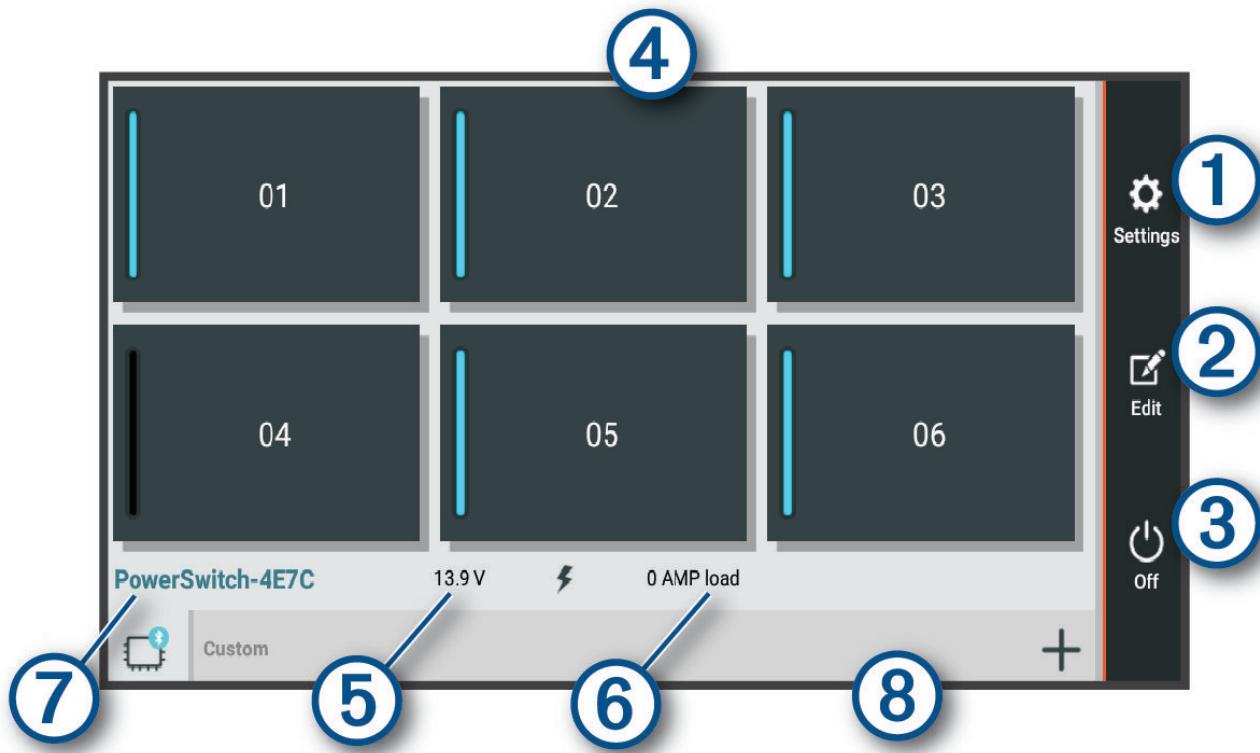
この機能を使用するには、デバイスで天気予報データを受信している必要があります。デバイスを Garmin Drive アプリに接続して、天気予報データを受信できます。

- 1 メイン画面で、天気予報のウィジェットを選択します ([メイン画面](#), 7 ページ)。  
デバイスは、現在の天気概況と今後数日間の予報を表示します。
- 2 曜日を選択します。  
選択した曜日の詳細な天気予報が表示されます。

## 別の都市周辺の天気を表示する

- 1 メイン画面で、天気予報のウィジェットを選択します(メイン画面、7ページ)。
- 2 現在地を選択します。
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - ・ お気に入りの都市の天気を表示するには、リストの都市を選択します。
  - ・ お気に入りの都市を追加するには、都市の追加を選択し、都市名を入力します。

## Garmin PowerSwitch™アプリ



①	アプリ設定メニューを開きます
②	編集モードを開始して、アプリのレイアウトと機能をカスタマイズします
③	すべての出力をオフにします
④ 電源ボタン	接続された各出力を有効にします
⑤	入力電圧を表示します
⑥	選択した Garmin PowerSwitch デバイスの合計アンペア数を表示します
⑦	デバイス名を表示します
⑧	Garmin PowerSwitch デバイスタブとカスタムレイアウトタブを表示します

## 電源スイッチの有効化

Garmin PowerSwitch アプリを使用してスイッチを有効にする前に、Garmin PowerSwitch デバイスを車両に取り付けて、Garmin PowerSwitch アプリとペアリングする必要があります。

Garmin PowerSwitch アプリから電源ボタンを選択し、スイッチのオン / オフを切り替えます。

### すべてのスイッチをオフにする

を選択します。

### ボタンのカスタマイズ

1 Garmin PowerSwitch アプリ画面から、を選択します。

アプリケーションが編集モードになります。

2 カスタマイズするボタンで、を選択します。

3 次の中からオプションを選択します。

- ボタンの名前を変更するには、Button Label フィールドを選択し、名前を入力します。
- ボタンにアイコンを追加するには、アイコンフィールドを選択し、アイコンを選択します。
- ボタンの色を変更するには、色を選択します。
- ボタンモードを変更するには、ボタンモードを選択します。
- スイッチの輝度を調整するには、スライダーを使用します。
- 制御入力で有効にするボタンを設定するには、制御入力を選択します。

4 を選択します。

5 OKを選択します。

### スイッチを制御入力へ割り当てる

制御入力機能を使用する前に、制御入力を Garmin PowerSwitch デバイス(制御入力の接続、59 ページ)。

Garmin PowerSwitch デバイスが制御入力から信号を受信したときにオンにするスイッチを 1 つ以上割り当てることができます。

1 を選択します。

2 ご使用の Garmin PowerSwitch デバイスを選択します。

3 制御入力を選択します。

4 1 つ以上のスイッチを選択します。

### カスタムレイアウトの追加

Garmin PowerSwitch アプリにカスタムレイアウトタブを追加できます。カスタムレイアウトに追加したボタンは、同時に複数のスイッチを制御できます。

1 Garmin PowerSwitch アプリから、を選択します。

デバイスが編集モードになります。

2 を選択します。

## カスタムレイアウトヘボタンを追加する

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2 を選択します。  
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 **Add Button** を選択します。
- 4 新しいボタンで、を選択します。
- 5 次の中からオプションを選択します。
  - ・ ボタンの名前を変更するには、**Button Label** フィールドを選択し、名前を入力します。
  - ・ ボタンにアイコンを追加するには、**アイコンフィールド**を選択し、アイコンを選択します。
  - ・ ボタンの色を変更するには、色を選択します。
- 6 **Add Action** を選択します。
- 7 必要に応じて、Garmin PowerSwitch デバイスとスイッチを選択します。
- 8 以下のようにして、アクションを選択します。
  - ・ ボタンを押すたびにスイッチのオン / オフを切り替えるように設定するには、**Toggle** を選択します。
  - ・ スイッチをオンにするようボタンを設定するには、**オンにする**を選択します。
  - ・ スイッチをオフにするようボタンを設定するには、**オフにする**を選択します。
- 9 ボタンモードを選択します。
  - ・ ワンタッチで有効にするようボタンを設定するには、**標準**を選択します。
  - ・ ボタンにタッチしている間のみ有効にするようボタンを設定するには、**瞬時**を選択します。
  - ・ ボタンを繰り返しオン / オフするように設定するには、**Strobe** を選択し、時間間隔を選択します。
- 10 必要に応じて、スライダーを使用して照明の明るさを設定します。
- 11 を選択します。
- 12 必要に応じて、**Add Action** を選択して、ボタンのアクションを追加します。  
Garmin PowerSwitch デバイスのスイッチごとに 1 つのアクションを追加できます。

## カスタムレイアウトでのボタンの配置

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2 を選択します。  
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 移動するボタンでを押したまま、ボタンを新しい場所にドラッグします。

## カスタムレイアウトまたはボタンの削除

- 1 Garmin PowerSwitch アプリで、カスタムレイアウトタブを選択します。
- 2 を選択します。  
アプリケーションが編集モードになります。
- 3 次の中からオプションを選択します。
  - ・ ボタンを削除するには、削除するボタンのを選択します。
  - ・ レイアウトタブを削除するには、レイアウトタブのを選択します。

# 設定

## ナビゲーション設定

設定 > ナビゲーションの順に選択します。

**計算モード:** ルート計算方法を設定します。

**回避:** ルート上で回避する道路の特徴を設定します。

**カスタム回避:** 特定の道路や地域を回避することができます。

**環境ゾーン:** お使いの車両に適用される可能性がある環境または排出制限のある地域に回避の環境設定を行います。

**有料道路:** 有料道路を回避する環境設定を行います。

**通行料金:** 有料道路と料金ステッカーを回避する環境設定を行います。

**注:** この機能を利用できない地域もあります。

**制限モード:** 運転中に注意散漫になって事故を招く恐れのあるすべてのデバイス機能が無効になります。

**走行履歴:** 目的地の記録をデバイスに保存できます。これにより、軌跡ログを表示したり、走行履歴機能や myTrends の推奨ルートを使用したりできます。

**走行履歴の消去:** デバイスからすべての走行履歴を消去できます。

## 地図および車両設定

設定 > 地図および車両の順に選択します。

**車両:** 地図上で自分の位置を示す車両アイコンを設定します。

**音声言語:** ナビゲーション音声案内の言語を変更します。

**運転地図表示:** 地図の表示方法を設定します。

**詳細度:** 地図の詳細度を設定します。 詳細度が高いほど、地図の描画に時間がかかることがあります。

**地図テーマ:** 地図データの色を変更します。

**地図レイヤー:** 地図ページに表示するデータを設定します (地図レイヤーをカスタマイズする, 31 ページ)。

**自動ズーム:** 地図の使用に最適なズームレベルが自動的に選択されます。 無効にすると、ズームインまたはズームアウトを手動で行う必要があります。

**マイマップ:** デバイスで使用されるインストール済み地図を設定します。

## 地図を有効にする

デバイスにインストールされている地図製品を有効にすることができます。

**ヒント:** 追加の地図製品を購入するには、[garmin.com/maps](http://garmin.com/maps) にアクセスしてください。

1 設定 > 地図および車両 > マイマップの順に選択します。

2 地図を選択します。

## ワイヤレスネットワークに接続する

1 設定 > ワイヤレスネットワーク > Wi-Fi の順に選択します。

2 必要に応じて切り替えスイッチを選択して、ワイヤレスネットワークを有効にします。

3 ワイヤレスネットワークを選択します。

4 必要に応じて暗号キーを入力します。

デバイスがワイヤレスネットワークに接続されます。 デバイスがネットワーク情報を記憶し、この場所に戻ったときに、自動的に接続します。

## Bluetooth 無線技術を有効にする

設定 > ワイヤレスネットワーク > Bluetooth の順に選択します。

## 運転者支援の設定

設定 > 安全運転支援の順に選択します。

**オーディブルドライバーアラート:** 各種ドライバーアラートごとに警告音を有効にできます (ドライバーへの注意喚起の機能とアラート, 11 ページ)。

**スピードカメラ:** スピードカメラや赤信号カメラに近づいたときに警告します。

**ルートのプレビュー:** ナビゲーションを開始すると、ルートの幹線道路のプレビューを表示します。

**休憩の計画:** 長時間運転の際に、休憩をとるよう通知し、この先のサービスエリアを表示します。休憩の通知とこの先のサービスエリアの表示は、有効 / 無効を切り替えることができます。

## トラフィック設定

メインメニューで、設定 > トラフィックの順に選択します。

**トラフィック:** トラフィック機能を有効にします。

**現在のプロバイダ:** トラフィックデータに使用するトラフィックプロバイダを設定します。自動オプションでは、利用可能な最適なトラフィックデータが自動的に選択されます。

**サブスクリプション:** 現在のトラフィックサブスクリプションをリスト表示します。

**最適なルート:** 最適な代替ルートを自動的、または要求に応じて使用できるようにします (ルート上の交通遅延を回避する, 16 ページ)。

## ディスプレイ設定

設定 > デバイス > ディスプレイの順に選択します。

**輝度レベル:** デバイスのディスプレイの輝度レベルを設定します。

**自動輝度調整:** デバイスがマウントから取り外されたときにバックライトの輝度を周辺光に応じて自動的に調整します。

**テーマ:** 昼または夜のカラー モードを選択できます。自動オプションを選択すると、時刻により昼または夜のカラーが自動的に切り替わります。

**壁紙:** デバイスの壁紙背景を設定します。

**スリープ:** バッテリー電源の使用時にデバイスがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定できます。

**Daydream:** Daydream スクリーンセーバーを有効または無効にします。

**フォントサイズ:** デバイスのフォントサイズを増減します。

**自動回転:** デバイスの向きに基づいて画面を縦向き表示モードと横向き表示モードの間で自動的に切り替えるか、または現在の向きのままにすることができます。

## サウンドと通知の設定

設定 > デバイス > サウンドと通知の順に選択します。

**音量スライダ:** ナビゲーション、メディア、通話、アラーム、および通知警告の音量レベルを設定します。

**サイレントモード:** 自動サイレントモード機能のルールを設定します。この機能を使用すると、特定の時間帯またはイベント中の警告音を無効にすることができます。

**デフォルトの着信音:** デバイスのデフォルトの着信音を設定します。

**その他のサウンド:** 画面のタッチ、画面のロック、充電など、その他のデバイス操作音を有効または無効にすることができます。

**キャスト:** デバイスのオーディオやビデオを互換性のあるスピーカー、ディスプレイ、デバイスにワイヤレスで送信できます。

**デバイスがロックされている場合:** デバイスがロックされているときに、通知を画面に表示するかどうかを設定します。

**アプリ通知:** インストールされている各アプリの通知を有効または無効にし、各アプリのサイレントモード設定を変更できます。

**通知アクセス:** システムおよびアプリ通知を読み取るためにアクセスできるアプリを選択できます。

**サイレントモードへのアクセス:** サイレントモード設定をオーバーライドまたは変更できるアプリを選択できます。

## サウンドと通知の音量を調整する

1 設定 > デバイス > サウンドと通知の順に選択します。

2 スライダーバーを使用して、サウンドと通知の音量を調整します。

## アラームを設定する

1  > ツール > 時計 >  >  を選択します。

2 時刻を設定します。

3 必要に応じて切り替えスイッチを選択して、アラームを有効にします。

## 位置情報サービスを有効または無効にする

デバイスで現在地の検索、ルート計算、ナビゲーション支援の提供を行うには、位置情報サービス機能を有効にする必要があります。GPS信号が利用できない場合は、位置情報サービスを無効にして、ルートを計画できます。位置情報サービスが無効なときは、GPSシミュレーターを使用してルートを計算し、シミュレートすることができます。

**ヒント:** 位置情報サービスを無効にすると、バッテリー電力を節約できます。

1 設定 > 個人 > 位置情報の順に選択します。

2 トグルスイッチを選択して、位置情報サービスを有効または無効にします。

**注:** ほとんどの用途では、モード設定をデフォルトオプションのデバイスのみから変更しないでください。このデバイスには、ナビゲート時に最も正確な位置データを提供する高性能GPSアンテナが組み込まれています。

## テキスト言語を設定する

デバイスソフトウェアのテキストの言語を選択できます。

1 設定 > 個人 > 言語と入力 > 言語の順に選択します。

2 言語を選択します。

## 日付と時刻の設定

設定 > システム > 日付と時刻の順に選択します。

**自動タイムゾーン:** 接続されたネットワークからの情報に基づいてタイムゾーンを自動的に設定します。

**タイムゾーンの選択:** 自動タイムゾーンが無効になっている場合は、デバイスのタイムゾーンを設定します。

**24時間表示を使用:** 24時間形式を有効または無効にします。

## デバイス設定

設定 > デバイスについての順に選択します。

**ステータス:** システムの状態とネットワーク情報を表示します。

**法規制情報:** エンドユーザー使用許諾契約 ( EULA ) およびソフトウェアライセンス情報を表示できます。

**法規:** E ラベルの規制および規制準拠に関する情報を表示します。

**Garmin デバイス情報:** ハードウェアおよびソフトウェアバージョン情報を表示します。

**デバイスデータの報告:** デバイスの機能を向上するために匿名データを共有します。

## 設定を初期化する

設定のカテゴリーを工場出荷時の初期設定値に戻すことができます。

- 1 設定を選択します。
- 2 設定のカテゴリーを選択します。
- 3 : > 初期化を選択します。

## デバイス情報

### E ラベルの規制およびコンプライアンス情報の表示

- 1 設定メニューから、メニューの下部にスワイプします。
- 2 デバイスについて > 法規を選択します。

## 仕様

動作温度範囲	-20° ~ 55°C ( -4° ~ 131°F )
充電温度範囲	0° ~ 45°C ( 32° ~ 113°F )
無線周波数 ( RV 890 / Camper 890 )	2.4 GHz @ 14 dBm
無線周波数 ( RV 1090 / Camper 1090 )	2.4 GHz @ 15 dBm
電源入力	付属の車両用電源ケーブルを使用した電源供給 別売アクセサリーを使用して AC 電源から電源供給 ( 家庭やオフィスでの使用時限定 )
電池タイプ	充電式リチウムイオン

## デバイスを充電する

注： このクラス III 製品は LPS 電源により電源が供給されます。

以下のいずれかの方法で、デバイスのバッテリーを充電することができます。

- ・ デバイスをマウントに取り付けて、マウントを車両電源に接続します。
- ・ コンセント電源アダプターなどのオプション電源アダプターアクセサリーにデバイスを接続します。  
家庭用またはオフィス用に適した、承認済みの GarminAC-DC アダプターを Garmin 販売店または [www.garmin.com](http://www.garmin.com) から購入できます。 デバイスがサードパーティ製アダプタに接続されている場合、デバイスの充電に時間がかかる場合があります。

## デバイスのメンテナンス

### Garmin サポートセンター

製品マニュアル、よく寄せられる質問 ( FAQ )、ビデオ、カスタマーサポートなどのヘルプや情報については、[support.garmin.com](http://support.garmin.com) を参照してください。

# Wi-Fi ネットワークの使用による地図とソフトウェアの更新

## 注記

地図やソフトウェアの更新では、デバイスで大きなファイルをダウンロードする必要がある場合があります。通常のデータ制限や料金がインターネットサービスプロバイダから適用されます。データ制限や料金の詳細については、インターネットサービスプロバイダにお問い合わせください。

インターネットへのアクセスを提供する Wi-Fi ネットワークにデバイスを接続することで、地図やソフトウェアを更新できます。これにより、デバイスをコンピュータに接続しないで最新の状態に保つことができます。

### 1 付属の USB ケーブルを使用して、デバイスを外部電源に接続します。

注：USB 電源アダプターは付属していません。アクセサリの電源アダプターを購入するには、[garmin.com](http://garmin.com) の製品ページにアクセスしてください。

### 2 デバイスを Wi-Fi ネットワークに接続します（[ワイヤレスネットワークに接続する](#)、48 ページ）。

Wi-Fi ネットワークに接続されている間、デバイスは利用可能な更新がないか自動的にチェックし、利用可能な更新が見つかると通知を表示します。

### 3 次の中からオプションを選択します。

- 更新通知が表示されたら、画面の上部から下へスワイプし、**更新が利用可能です。**を選択します。
- 更新を手動で確認するには、**設定 > 更新**の順に選択します。

利用可能な地図とソフトウェアの更新が表示されます。更新が利用可能な場合は、**更新が利用可能**がマップまたはソフトウェアの下に表示されます。

### 4 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、**ダウンロード**を選択します。
- 地図の更新のみをインストールするには、**マップ**を選択します。
- ソフトウェアの更新のみをインストールするには、**ソフトウェア**を選択します。

### 5 必要に応じて、使用許諾契約を読み、**同意**を選択して使用許諾契約に同意します。

注：使用許諾契約に同意しない場合、拒否を選択できます。これにより、更新処理は停止します。使用許諾契約に同意するまで更新をインストールすることはできません。

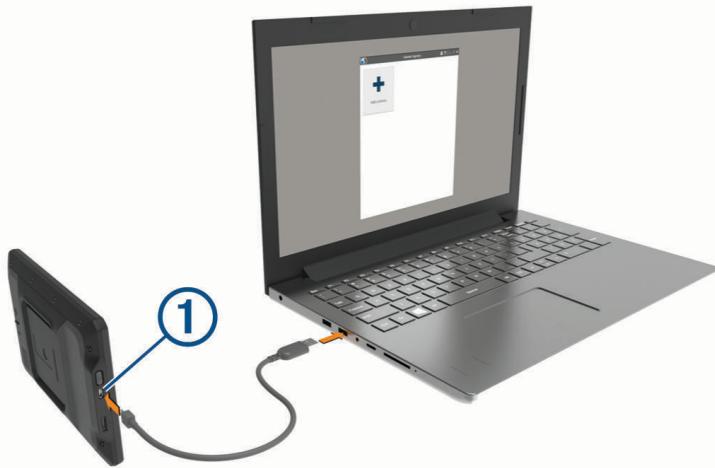
### 6 更新処理が完了するまで、デバイスを外部電源に接続したままにして Wi-Fi ネットワークの範囲内に維持します。

**ヒント：**地図の更新が中断したり、完了する前にキャンセルされたりした場合、デバイスの地図データが失われることがあります。失われた地図データを修復するには、地図をもう一度更新する必要があります。

## Garmin Express による地図とソフトウェアの更新

Garmin Express アプリケーションを使用して、お使いのデバイスに対応した最新の地図やソフトウェア更新をダウンロードしてインストールできます。

- 1 コンピュータに Garmin Express アプリケーションがインストールされていない場合は、garmin.com /express にアクセスし、画面に表示される指示に従ってインストールします (Garmin Express をインストールする, 54 ページ)。
- 2  Garmin Express アプリケーションを開きます。
- 3 micro-USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続します。  
ケーブルの小さい方の端は RV / Camper デバイスの micro-USB ポート ① に接続し、大きい方の端はコンピュータで利用できる USB ポートに接続します。



- 4 Garmin Express アプリケーションで、**デバイスの追加**をクリックします。  
Garmin Express アプリケーションはデバイスを検索し、デバイス名とシリアル番号を表示します。
- 5 **デバイスの追加**をクリックし、画面に表示される指示に従って、ご使用のデバイスを Garmin Express アプリケーションに追加します。  
セットアップが完了すると、Garmin Express アプリケーションにデバイスで利用できる更新が表示されます。

更新を利用できます

前回の確認 : たった今 

推定インストール時間 : 1時間-18分

[詳細の表示](#)

[すべてインストール](#)

## 6 次の中からオプションを選択します。

- 利用可能なすべての更新をインストールするには、すべてインストールをクリックします。
- 特定の更新をインストールするには、詳細の表示をクリックし、必要な更新の横にあるインストールをクリックします。

Garmin Express アプリケーションがデバイスに更新をダウンロードしてインストールします。地図の更新は非常に大きく、インターネットの接続速度が遅い場合、この処理には長時間かかる場合があります。

注：地図の更新がデバイスの内部ストレージに対して大きすぎる場合は、ソフトウェアで、microSD®デバイスにカードを挿入してストレージ領域を追加するように求めるメッセージが表示される場合があります（[地図およびデータ用のメモリカードを挿入する](#)、64 ページ）。

## 7 更新処理中は画面上の指示に従って、更新のインストールを完了します。

たとえば、更新処理中、Garmin Express アプリケーションからデバイスを切断して再接続するように指示される場合があります。

## Garmin Express をインストールする

Garmin Express アプリケーションは Windows® および Mac® コンピュータで利用できます。

### 1 コンピュータから [garmin.com/express](http://garmin.com/express) にアクセスします。

### 2 次の中からオプションを選択します。

- システム要件を表示し、Garmin Express アプリケーションがコンピュータと互換性があることを確認するには、システム要件を選択します。
- Windows コンピュータにインストールするには、ダウロード（Windows）を選択します。
- Mac コンピュータにインストールするには、ダウロード（Mac）を選択します。

### 3 ダウロードファイルを開き、画面に表示される指示に従って、インストールを完了してください。

## デバイスのお手入れ

### 注記

装置を落とさないようにしてください。

長時間高温に晒されるような場所に装置を保管しないでください。破損する可能性があります。

タッチスクリーンの操作に硬いものやとがったものは絶対に使用しないでください。スクリーンを傷つける恐れがあります。

デバイスを水に濡らさないでください。

## 外側ケースのクリーニング

### 注記

化学洗剤や溶媒は使用しないでください。プラスチック部品が損傷する可能性があります。

### 1 低刺激性の洗浄液で湿らせた布で、デバイスの外側ケース（タッチスクリーン以外）を拭きます。

### 2 デバイスの湿気を拭き取ります。

## タッチスクリーンのクリーニング

### 1 柔らかく、清潔で糸くずの出ない布を使用します。

### 2 必要に応じて、布を軽く湿らせます。

### 3 湿らせた布を使用する場合は、デバイスの電源をオフにして、デバイスを電源から切り離します。

### 4 力を入れずに画面を布で拭きます。

## 盗難防止

- 使用しないときは、デバイスおよびマウントを見るところから取り外してください。
- 吸着カップによって付いたフロントガラス上の汚れを取り除いてください。
- ユニットをダッシュボードのグローブボックスに入れておかないでください。
- Garmin Express ソフトウェアを使用してデバイスを登録します（[garmin.com/express](http://garmin.com/express)）。

## デバイスをリセットする

デバイスが動作を停止した場合は、リセットできます。

電源キーを 12 秒間押し続けます。

## デバイス、マウント、吸着カップを取り外す

### 吸着カップからマウントを取り外す

- 1 マグネット式マウントを吸着カップボールに固定しているナットを緩めます。
- 2 デバイスのマウントを右または左に回転させます。
- 3 マウントのソケットから吸着カップのボールが外れるまで力を掛けます。

### フロントガラスから吸着カップを取り外す

- 1 吸着カップのレバーを自分の方に倒します。
- 2 吸着カップのつまみを自分の方に引きします。

## トラブルシューティング

### 吸盤がフロントガラスに取り付けられない

- 1 吸盤とフロントガラスを消毒用アルコールで拭き取ります。
- 2 乾燥した清潔な布で乾かします。
- 3 吸盤を取り付けます ([車両へのデバイスの取り付けと電源の供給](#), 2 ページ)。

### 運転中にマウントでデバイスが所定の位置に保持されない

最善の結果を得るには、車両マウントをきれいな状態に保ち、デバイスを吸盤の近くに配置します。

運転中にデバイスの位置が動く場合は、以下の操作を実行してください。

- ・ 電源に接続されたマウントを吸盤アームから取り外し、ボールとソケットを布で拭きます。  
ほこりなどの異物が入ると、ボールとソケットジョイントとの摩擦が減り、運転中にジョイントが動きます。
- ・ ハンジ付きのアームを、フロントガラスの角度で可能な限り吸盤に向けて回転させます。  
デバイスをフロントガラスの近くに置くと、道路からの揺れや振動の影響が軽減されます。

### デバイスで衛星信号を受信できない

- ・ 位置情報サービスが有効になっていることを確認します ([位置情報サービスを有効または無効にする](#), 50 ページ)。
- ・ 駐車場からデバイスを持ち出して、高層ビルや樹木から離れた場所へ移動してください。
- ・ 数分間静止したままにします。

### デバイスを車両で充電できない

- ・ 車両のイグニッションがオンになっており、電源コンセントに電気が流れていることを確認します。
- ・ 車内温度が仕様で指定されている充電温度範囲内であることを確認します。
- ・ 車両のヒューズボックスで、車両の電源コンセントのヒューズが切れていないことを確認します。

## 充電しても電池の電力が長持ちしない

- ・画面の輝度を下げます (ディスプレイ設定, 49 ページ)。
- ・ディスプレイのタイムアウトを短くします (ディスプレイ設定, 49 ページ)。
- ・音量を下げます (サウンドと通知の音量を調整する, 50 ページ)。
- ・使用しないときは、デバイスを省電力モードにします (デバイスの電源をオンまたはオフにする, 6 ページ)。
- ・デバイスを高温になる場所に保管しないでください。
- ・デバイスは直射日光の当たるところに放置しないでください。

## デバイスがスマートフォンに接続されません

- ・設定 > ワイヤレスネットワーク > Bluetooth の順に選択します。  
[ Bluetooth ] オプションを有効にする必要があります。
- ・スマートフォンで Bluetooth 無線の設定を有効にし、デバイスから 10m ( 33 ft. ) 以内の範囲に電話を持っています。
- ・お使いのスマートフォンが対応していることを確認します。  
詳細については、[www.garmin.com/bluetooth](http://www.garmin.com/bluetooth) を参照してください。
- ・ペアリングプロセスを再度完了します。  
ペアリングプロセスを繰り返すには、スマートフォンとデバイスのペアリングを解除して (ペアリングした Bluetooth デバイスを削除する, 35 ページ)、ペアリングプロセスを完了する必要があります。

## 付録

### Garmin PowerSwitch

#### △ 警告

Garmin 装置の設置は、電気機器に関する適切な知識を持つた、経験豊富な技術者が行うことを強くお勧めします。電源ケーブルの配線を誤ると、車両やバッテリーを破損し、怪我の原因になる可能性があります。

接続された Garmin PowerSwitch デバイスを使用すると、RV / Camper デバイスから照明、ファンなどを制御できます。

### 取り付けに関する注意事項

- ・デバイスは、バッテリーの近くでかつ付属の電源ケーブルの範囲内に取り付ける必要があります。
- ・取り付け面は、デバイスの重量を支えるのに十分な強度が必要です。
- ・取り付ける場所には、すべてのケーブルの配線と接続のために十分な空間が必要です。

## デバイスの取り付け

デバイスを取り付ける前に取り付け位置を選択し、取り付け面に適したハードウェアを購入する必要があります。

### 注記

車両にパイロット穴を開け、マウントを取り付けるときには、ワイヤ、計器、エアバッグ、エアバッグカバー、HVACなどは避けてください。Garminは、取り付けによって生じた損害や結果については一切責任を負いません。

- 選択した場所にマウントを配置します。



- マウントをテンプレートとして使用し、2箇所のネジ位置①に印を付けます。
- パイロットホールを開けます（オプション）  
一部のタイプの取り付け材質では、パイロットホールをドリルで開ける必要があります。マウント越しにドリルを使わないでください。
- 取り付け面に適したハードウェアを使用して、マウントを表面にしっかりと固定します。

## 前面カバーを開く

電気接続を行うには、前面カバーを開く必要があります。

- 1 前面カバーラッチ①を持ち上げ、反時計回りに回します。



- 2 前面カバーをデバイスから引き出します。



## アクセサリーの接続

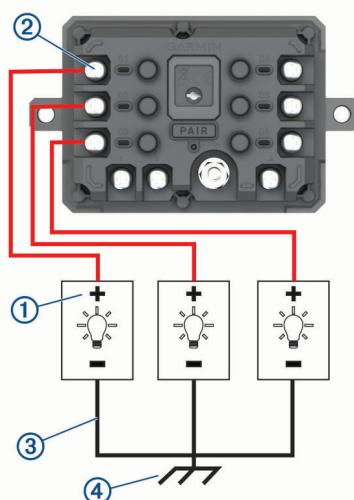
### 注記

ウインチの制御や電源供給にデバイスを使用しないでください。この注記に従わないと、車両またはデバイスが損傷することがあります。

#### アクセサリーの要件

- Garmin PowerSwitch デバイスに配線する前に、各アクセサリーの定格アンペアを確認してください。このデバイスは、各チャンネルで最大 30 A、システム全体で最大 100 A のアクセサリーに対応しています。
- 20 ~ 30 A を使用するアクセサリーには、10 AWG ( 6 mm<sup>2</sup> ) の配線を使用します。
- 10 ~ 20 A を使用するアクセサリーには、12 AWG ( 4 mm<sup>2</sup> ) の配線を使用します。
- 10 A 未満を使用するアクセサリーには、14 AWG ( 2.5 mm<sup>2</sup> ) の配線を使用します。
- すべてのアクセサリー接続には適切なサイズの端子を使用します。
- すべての端子コネクターをしっかりと圧着します。

- 1 アクセサリー ① のプラス線を Garmin PowerSwitch デバイスのアクセサリー端子 ② のいずれかに接続します。



- 2 マイナス線またはアース線 ③ を車両フレームの塗装されていないアーススタッド ④ に、アース供給ブロックに、またはバッテリーのマイナス端子に直接接続します。

### 注記

アクセサリーアース線を Garmin PowerSwitch デバイスのアース端子( GND )に接続しないでください。この注記に従わないと、人的損害や物的損害が発生したり、デバイスの機能に悪影響を及ぼすことがあります。

## 制御入力の接続

制御端末に接続して Garmin PowerSwitch デバイスを有効にすると、カスタマイズ可能な出力をオンにできます。たとえば、車両のイグニッションスイッチを制御入力端子に接続すると、車両を始動するたびにアクセサリーを自動的にオンにすることができます。制御端子は、3.3 V ~ 18 V の信号を検出します。Garmin PowerSwitch アプリを使用して出力機能を構成できます。

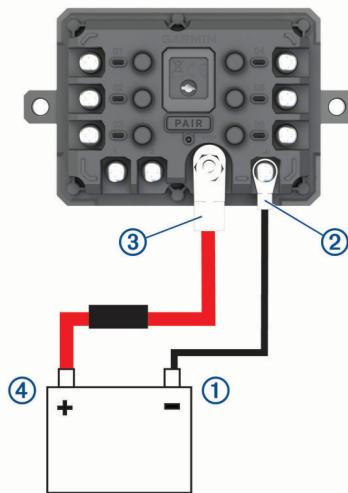
車両の制御ソースからの制御線を Garmin PowerSwitch デバイスの 2 つの制御端子のいずれかに接続します。

## デバイスを車両電源に接続する

デバイスを車両の電源に接続する前に、デバイスの+12V端子から警告タグを取り外す必要があります。

すべての電気接続が確実に固定され、デバイスの操作中に緩まないことを必ず確認してください。

- 1 同梱されているアース線①の大きいリング側を車両バッテリーのマイナス端子に接続します。



- 2 アース線の小さいリング側をデバイスのGND端子②に接続します。

- 3 付属の12Vケーブルの小さいリング側をデバイスの+12V端子③に接続します。

- 4 +12V端子の $\frac{3}{8}$ in.ナットを最大トルク仕様4.52 N·m(40 lbf-in.)で締め付けます。

ナットは手で緩めることができないことを確認する必要があります。

### 注記

端子の損傷を防ぐため、+12V端子を締めすぎないでください。

- 5 12Vケーブル④の大きいリング側を車両バッテリーのプラス端子に接続します。

## Garmin ナビゲーションデバイスとのペアリング

Garmin PowerSwitch デバイスを互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。

- 1 Garmin PowerSwitch デバイスの電源を入れ、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスをデバイスから1m(3.3 ft.)以内に配置します。
  - 2 互換性のあるナビゲーションデバイスで、Garmin PowerSwitch アプリを開きます。
  - 3 画面上の指示に従って、ペアリングおよびセットアッププロセスを完了します。
- メインアプリダッシュボードが表示されます。デバイスは、ペアリングされると、電源がオンになって範囲内にあるときに、自動的に接続されます。

## Garmin PowerSwitch 仕様

寸法 ( 奥行き × 幅 × 高さ )	75 × 125 × 32 mm ( 2.95 × 4.92 × 1.26 in. )
動作温度範囲	-25° ~ 85°C ( -13° ~ 185°F )
無線周波数	2.4 GHz @ 14 dBm
電源入力	付属の車両電源ケーブルを使用して 12~16 V。
最大アクセサリ出力	30 A
最大システム出力	100 A
すべての出力をオフにした状態での電流引き込み	3 mA
防水等級	IEC 60529 IPX7 <sup>1</sup>

## トラブルシューティング

### 自分の Garmin PowerSwitch が接続したままになりません

- Garmin PowerSwitch デバイスが受電していることを確認します。
- ペアリングしたナビゲーションデバイスまたはスマートフォンで Bluetooth テクノロジーが有効になっていることを確認します。
- ナビゲーションデバイスまたはスマートフォンをご自分の Garmin PowerSwitch デバイスに近づけます。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。  
供給電力が 11 V 未満の場合、車両のバッテリーを保持するため、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにします ([アクセサリに電力が供給されていません](#), 61 ページ)。

### アクセサリに電力が供給されていません

- Garmin PowerSwitch デバイスが車両バッテリーから電力を供給されていることを確認します。
- 車両のバッテリーが 12 V 以上の電力を供給していることを確認します。  
11 V 未満の電力を受信している場合、Garmin PowerSwitch デバイスはすべての出力を自動的にオフにして、車両のバッテリーを保持します。出力は、デバイスが 12 V を超える電力を検出するとオンに戻ります。
- 全ての電気接続が確実に固定されていることを確認し、走行中に緩むことがないようにします。
- 接続されている各アクセサリーの消費電力が 30 A 未満であることを確認します。  
アクセサリーの消費電力が 30 A を超えると、デバイスはその出力を自動的にオフにします。
- システム全体の消費電力が 100 A 未満であることを確認します。  
100 A を超えるシステムの消費電力を検出すると、すべての出力が自動的にオフになります。
- すべての電気接続に短絡がないか点検します。

## バックアップカメラ

接続された 1 台以上のバックアップカメラからのビデオフィードをデバイスに表示できます。

<sup>1</sup> このデバイスは水深 1 m、30 分までの偶発的な水没に耐える防水性能を備えています。詳細については、[www.garmin.com/waterrating](http://www.garmin.com/waterrating) を参照してください。

## BC™ 35 バックアップカメラと Garmin ナビゲーションデバイスをペアリングする

カメラに接続する前に、Garmin ナビゲーションデバイスで Wi-Fi 設定を有効にする必要があります。

BC 35 ワイヤレスバックアップカメラは、Android を搭載した一部の Garmin ナビゲーションデバイスと互換性があります。デバイスの互換性について詳しくは、[garmin.com/bc35](http://garmin.com/bc35) を参照してください。

最大 4 台の BC 35 ワイヤレスバックアップカメラを、互換性のある Garmin ナビゲーションデバイスとペアリングできます。

- 1 ナビゲーションデバイスを最新のソフトウェアに更新します。

デバイスは最新のソフトウェアがインストールされていない BC 35 カメラをサポートしない場合があります。更新について詳しくは、ナビゲーションデバイスのマニュアルを参照してください。

- 2 Garmin ナビゲーションデバイスの電源をオンにし、カメラから 3 m (10 ft.) 以内の範囲に移動します。

- 3  > ツール > リアビュー >  > Garmin BC35 の順に選択します。

- 4 使用可能なカメラのリストから、BC 35 カメラを選択します。

注：ペアリングコードまたはパスワードは、カメラの送信機に記載されています。

- 5 セットアップ<sup>®</sup>を選択し、画面上の矢印を使用してガイダンスラインを配置します。

カメラまたは車両が、ガイドラインのアライメントを完了するのに理想的な位置にない場合は、後でアライメントを完了することができます。

- 6 保存を選択します。

最初のカメラとのペアリングプロセスが完了すると、Garmin ナビゲーションデバイスに自動的に接続されます。

## 有線のバックアップカメラを接続する

有線のバックアップカメラを接続するには、オプションのビデオマウントアクセサリを使用する必要があります。これには、3.5 mm のコンポジットビデオ入力ジャックが含まれています。アクセサリマウントを購入するには、[garmin.com](http://garmin.com) にアクセスしてください。ビデオマウントアクセサリは、一部のデバイスマルに付属しています。

有線のバックアップカメラを接続し、デバイスの画面に出力を表示することができます。

- 1 元のデバイスマウントをビデオマウントアクセサリと交換します。

- 2 カメラのビデオケーブルをマウントのビデオ入力ジャック ① に接続します。



## バックアップカメラを表示する

### △警告

このデバイスの目的は、適切な使用時に、状況を認識する能力を高めることです。不適切に使用すると、ディスプレイに気を取られ、重傷事故や死亡事故につながる可能性があります。デバイスに表示された情報を、凝視しないようにしてください。周囲の状況に常に気を配るようにして、ディスプレイを見つめたり、ディスプレイに気を取られたりしないでください。ディスプレイに意識を向けると、障害物や危険物を見落とすことがあります。

カメラを電源にどのように接続するかによって、接続されているバックアップカメラからのビデオが、デバイスにどう表示されるかが異なります。

#### 1 オプションを選択して、ビデオを表示します。

- ・ カメラがリバースランプに接続されている場合（推奨）、車両のギアをバックに入れます。  
バックアップカメラからのビデオがデバイスに自動的に表示されます。
- ・ カメラが、安定した電源に接続されている場合、手動でカメラを表示するには、 > ツール > リアビューの順に選択します。

#### 2 オプションを選択して、デバイスを通常の動作に戻します。

- ・ カメラがリバースランプに接続されている場合（推奨）、車両のギアをバック以外に入れます。  
デバイスは自動的に通常の動作に戻ります。
- ・ トランスミッタが、安定した電源に接続されている場合、手動でカメラを非表示にするには、 を選択します。

## カメラを切り替える

複数のバックアップカメラが、デバイスに情報を送信している場合、それらのカメラの画像を切り替えることができます。

#### 1 > ツール > リアビューの順に選択します。

#### 2 画面下部からカメラを選択します。

カメラからのビデオフィードが表示されます。

## カメラの向きの変更

カメラの車両上の設置場所によっては、映像がデフォルトで上下逆、または左右が逆になる場合があります。  
映像を水平方向に回転したり、垂直方向に反転して修正できます。

#### 1 > ツール > リアビュー > の順に選択します。

#### 2 次の中からオプションを選択します。

- ・ ビデオを左右反転を選択します。  
注：これは、カメラを車両の前後に設置した場合に役立ちます。
- ・ ビデオを反転を選択します。  
注：これは、カメラを車両の両サイドに設置した場合に役立ちます。

## 電動マウントへのダッシュカムラの接続

ダッシュカムラを電動マウントに接続する前に、ダッシュカムラデバイスをフロントガラスに取り付ける必要があります。

RV / Camper デバイスマウントを使用して、互換性のある Garmin ダッシュカムラに電力を供給できます。車両の同じ電源に RV / Camper デバイスとダッシュカムラを接続する必要がある場合に便利です。

- 1 RV / Camper デバイスを車両に取り付けて電源に接続します（[車両へのデバイスの取り付けと電源の供給, 2 ページ](#)）。
- 2 必要に応じて、マグネット式マウントから RV / Camper デバイスを取り外し、USB ポートを見やすくします。
- 3 ダッシュカムラの電源ケーブルをマウントの USB ポート ① に接続します。



## データ管理

デバイスには、データストレージを追加できるメモリーカードスロットがあります。

注：このデバイスは Windows 7 以降、および Mac OS 10.4 以降に対応しています。Mac コンピュータは、Android デバイス上のファイルを読み書きするのに追加のサードパーティソフトウェアを必要とする場合があります。

### メモリカードについて

家電販売店からメモリカードを購入したり、あらかじめロードされている Garmin 地図ソフトウェア ([www.garmin.com](http://www.garmin.com)) を購入できます。メモリカードを使用すると、地図やカスタム POI などのファイルを保存できます。

### 地図およびデータ用のメモリカードを挿入する

メモリカードを挿入して、デバイスの地図やその他のデータの記憶容量を増やすことができます。メモリカードを家電量販店から購入するか、[www.garmin.com/maps](http://www.garmin.com/maps) にアクセスして Garmin 地図ソフトウェアがあらかじめロードされているメモリカードを購入できます。このデバイスは、4~256 GB の microSD メモリーカードに対応しています。メモリーカードは FAT32 ファイルシステムフォーマットを使用している必要があります。32 GB を超えるメモリーカードは、デバイスを使用してフォーマットする必要があります（[メモリーカードのフォーマット, 65 ページ](#)）。

- 1 デバイスの地図およびデータメモリーカードスロットの場所を確認します（[デバイスの概要, 1 ページ](#)）。
- 2 メモリカードをスロットに挿入します。
- 3 力を加え、音がするまで押し込んでください。

## メモリーカードのフォーマット

デバイスには、FAT32 ファイルシステムでフォーマットしたメモリーカードが必要です。デバイスを使用すると、このファイルシステムでカードをフォーマットできます。

新品のメモリーカードは、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされていない場合はフォーマットする必要があります。

注：メモリーカードをフォーマットすると、カード上のデータがすべて削除されます。

- 1 設定 > デバイス > ストレージと USB の順に選択します。
- 2 メモリーカードを選択します。
- 3 :> 設定 > フォーマット > 消去してフォーマットの順に選択します。
- 4 完了を選択します。

## デバイスをコンピュータに接続する

USB ケーブルを使用して、デバイスをコンピュータに接続できます。

- 1 USB ケーブルの小さい方の端をデバイスのポートに接続します。
- 2 USB ケーブルの大きい方の端をコンピュータのポートに接続します。

コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。

## コンピュータからデータを転送する

- 1 デバイスをコンピュータに接続します（[デバイスをコンピュータに接続する, 65 ページ](#)）。
- 2 コンピュータのオペレーティングシステムにより、デバイスはポータブルデバイス、リムーバブルドライブ、またはリムーバブルボリュームとして表示されます。
- 3 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 4 ファイルを選択します。
- 5 [ 編集 ] > [ コピー ] の順に選択します。
- 6 デバイス上のフォルダを参照します。

注：リムーバブルドライブまたはボリュームの場合、Garmin フォルダにファイルを入れないでください。

- 7 [ 編集 ] > [ 貼り付け ] の順に選択します。

## コンピュータから GPX ファイルを転送する

Apple コンピュータでは、このデバイスでファイルを読み書きするために、Android File Transfer などの追加のサードパーティソフトウェアが必要になる場合があります。

デバイスで使用するルートをすでに作成している場合は、GPX ファイルをコンピュータから直接転送できます。

- 1 デバイスをコンピュータに接続します（[デバイスをコンピュータに接続する, 65 ページ](#)）。
- 2 コンピュータで、ファイルブラウザを開きます。
- 3 GPX ファイルを選択します。
- 4 [ 編集 ] > [ コピー ] の順に選択します。
- 5 デバイス上の GPX フォルダを参照します。
- 6 [ 編集 ] > [ 貼り付け ] の順に選択します。

## Garmin Drive アプリで GPX ファイルをエクスポートする

Garmin Drive アプリを使用して、ウェイポイントやルートなどのデータを GPX ファイル形式で共有できます。

1 RV / Camper デバイスで、[ オプション ] を選択します。

- ・ ウェイポイントを共有するには、目的地検索 > 保存済み >  > 共有 > Garmin Drive の順に選択します。
- ・ ルートを共有するには、 > ナビゲーション > ルート > 保存されたトリップ >  > 共有 > Garmin Drive の順に選択します。

2 1つ以上のウェイポイントまたはルートを選択します。

3 完了を選択します。

4 スマートフォンで Garmin Drive アプリを開きます。

5 画面の指示に従い、.gpx ファイルを共有します。

## Garmin Drive アプリを使用した GPX ファイルのインポート

Garmin Drive アプリを使用して、ウェイポイントやルートなどのデータを GPX ファイル形式でインポートできます。たとえば、E メールで受信したウェイポイントまたはルートを RV / Camper デバイスに送信できます。

1 スマートフォンで.gpx ファイルを選択し、Garmin Drive アプリで開きます。

2 Garmin Drive アプリの画面の指示に従います。

3 RV / Camper デバイスで、[ オプション ] を選択します。

- ・ インポートされたウェイポイントを表示するには、目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- ・ インポートされたルートを表示するには、 > ナビゲーション > ルート > 保存されたトリップの順に選択します。

## メモリーカードを使用した GPX ファイルのエクスポート

ウェイポイントやルートなどのデータを GPX ファイル形式で互換性のある microSD カードに共有できます。

1 互換性のある microSD カードをデバイスのメモリーカードスロットに挿入します (地図およびデータ用のメモリカードを挿入する, 64 ページ)。

2 RV / Camper デバイスで、[ オプション ] を選択します。

- ・ ウェイポイントを共有するには、目的地検索 > 保存済み >  > 共有 > メモリカードの順に選択します。
- ・ ルートを共有するには、 > ナビゲーション > ルート > 保存されたトリップ >  > 共有 > メモリカードの順に選択します。

3 1つ以上のウェイポイントまたはルートを選択します。

4 完了を選択します。

## メモリーカードを使用した GPX ファイルのインポート

ウェイポイントやルートなどのデータを互換性のある microSD カードから GPX ファイル形式でインポートできます。

1 1つ以上の gpx ファイルを含む互換性のある microSD カードをデバイスのメモリーカードスロットに挿入します (地図およびデータ用のメモリカードを挿入する, 64 ページ)。

RV / Camper デバイスは、microSD カード上で見つかった.gpx ファイルを自動的にインポートします。

2 次の中からオプションを選択します。

- ・ インポートされたウェイポイントを表示するには、目的地検索 > 保存済みの順に選択します。
- ・ インポートされたルートを表示するには、 > ナビゲーション > ルート > 保存されたトリップの順に選択します。

## 追加の地図を購入する

1 [garmin.com](http://garmin.com) のデバイス製品ページにアクセスします。

2 [ マップ ] タブをクリックします。

3 画面に表示される指示に従います。

## アクセサリーを購入する

[garmin.com/accessories](http://garmin.com/accessories) にアクセスします。

[support.garmin.com](https://support.garmin.com)

